

2) 支援情報説明会・交流会（開催案内・次第）

第1回 平成26年6月22日～29日

ア) 北海道

i. 開催案内（表面）

福島県から北海道へ自主避難されている皆様へ

復興庁「平成26年度 県外自主避難者等への情報支援事業」

第1回 支援情報説明会のご案内

日時 2014年6月22日（日）
13:30～16:30

場所 北農健保会館3階 芭蕉（313号室）
札幌市中央区北4条西7丁目

交流会

も開催します。

福島第一原子力発電所事故の影響により、福島県から北海道へ自主的避難をされているみなさまを対象に、福島県・北海道などから行政支援に関する説明会と、道内各地へ避難されている方々のつながりの場として交流会を開催します。自主避難者が多いまち、少ないまち・・・「それぞれの今」をこの機会に共有しませんか？

■内 容

13:30～ 開会・挨拶（司会）NPO法人北海道NPOサポートセンター

13:40～ 第1部 支援情報説明会

- 福島県からの情報提供
「福島県避難者意向調査の結果について」福島県避難者支援課 主査 山崎 智弘 氏
「甲状腺について」 福島県県民健康調査課 小谷 尚克 氏
- 北海道からの情報提供
「平成26年度 北海道の支援事業について」
総合政策部地域づくり支援局地域政策課道外被災地支援グループ 主事 今 宏幸 氏
- 有識者からの情報提供
「避難者支援の現状について」
東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）広域避難者支援担当 津賀 高幸 氏

15:30～ 第2部 交流会 「道内各地の避難者さんと話ませんか？」

16:30 閉会

【問合せ先】 特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター
TEL 011-299-6940 FAX 011-299-6941
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

参考2-1

（裏面）

北農健保会館3階 芭蕉（313号室）
札幌市中央区北4条西7丁目1番4
TEL：011-261-3270

【アクセス】

- ・JR札幌駅 徒歩5分
- ・地下鉄さっぽろ駅6番出口 徒歩5分
- ・道央高速札幌北インターより約15分
※お車でお越しの方は近隣有料駐車場をご利用ください。



■参加費 個人負担なし

■交通費 札幌駅までの最安値の公共交通機関利用料金を補助いたします。当日は交通費受領のための印鑑をお持ちください。まずは、お問い合わせください。

■申込方法 FAX、E-mailにて、下記についてお知らせください。
・参加者の氏名・住所・電話番号・E-mailアドレス
※ E-mailでのお申込みの際は、件名に「6月22日支援情報説明会申込み」とお書きください。
・お子さん連れの方は、お子さんの名前・年齢

■申込み締切 6月18日（水）17時まで

- 実施主体 復興庁
- 事業管理者 株式会社三菱総合研究所
- 受託事業者 特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター

会場内にキッズスペースを設けます。



参加申込書

ファックス送信先 北海道NPOサポートセンター FAX 011-299-6941

※お子さんの場合は年齢もお書きください。

参加者氏名	年 齢	参加者氏名	年 齢

○連絡先

TEL _____ 携帯 _____

住所 _____

E-mail アドレス(PC) _____

E-mail アドレス(携帯) _____

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業
第1回 支援情報説明会

日時：2014年6月22日（日）13：30～16：45
場所：北農健保会館 3階 芭蕉（313号室）
（札幌市中央区北4条西7丁目）

次 第

開 会（13：30）

出席者紹介

1. 「福島県避難者意向調査の結果について」 （13：40～）
福島県生活環境部避難者支援課 主査 山崎 智弘 氏
2. 「甲状腺検査について」 （14：00～）
福島県保健福祉部県民健康調査課 主幹 小谷 尚克 氏
3. 「平成26年度 北海道の支援事業について」 （14：30～）
北海道総合政策部地域づくり支援局
地域政策課道外被災地支援グループ 主事 今 宏幸 氏
4. 「放射線リスクに関する基礎的情報について」 （14：50～）
復興庁 主査 石川 博貴 氏
5. 「避難者支援の現状について」 （15：10～）
株式会社ダイナックス都市環境研究所 主任研究員 津賀 高幸 氏

閉 会 （15：35）

※ 各説明後に質疑応答の時間を設けます。

以上

閉会后、同会場にて交流会を行います。（15：45～16：45）

イ) 山形県

i. 開催案内（表面）

山形県内に自主避難されているみなさんへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会

自主避難者交流会のご案内

福島第一原子力発電所事故の影響により、福島県から山形県へ自主的避難をされた方々を対象に、福島県・山形県それぞれからの行政支援に関する説明と、県内各地へ避難されている方々の繋がりとしての交流会を開催いたします。震災から3年を経た今、あなたの想いをこの機会に共有しませんか？

日程 平成26年6月29日（日） 交流会も
10時開場 託児付 昼食付 あります。
※要予約となっております。

- 内容
- 10：05～ 開会・挨拶（司会）一般社団法人山形県被災者連携支援センター
- 10：15～ 第1部 支援情報説明会
- ・福島県からの情報提供（福島県担当者）
 - ・山形県からの情報提供（山形県支援窓口担当者）
 - ・有識者からの情報提供（カウンセラー、バースセラピスト：志村季世恵）
- 12：15～ 第2部 交流会「県内各地の避難者同士で、話しませんか？」
（昼食付です。ランチタイムを挟みつつ茶話会に移行いたします。）
- 15：00 閉会

会場

山形県生涯学習センター（遊学館）第2研修室（3階）
山形県山形市緑町1丁目2番36号



電車・バスをご利用の場合：山形駅からタクシーで5分。路線バスで、市役所前下車・徒歩5分。
自家用車をご利用の場合：山形自動車道・山形蔵王ICから約10分。

駐車場は、文翔館（旧県庁）隣りの県営駐車場をご利用ください。
※駐車場代は無料になります。

☆裏面をご参照の上、お申し込みください。

(裏面)

宛先：山形連セン 復興庁事業担当

申し込み締め切り

平成26年6月23日(月曜日)18時まで

■ FAX での参加お申込み ■

FAX：023-665-4793

この用紙に記入してFAXして下さい。

氏名	(ふりがな)
連絡先 (いずれか)	TEL: E-MAIL:
説明会	参加する ・ 参加しない
交流会	参加する ・ 参加しない ※参加する方のみ (昼食付き・昼食なし)
託児希望	希望する ・ 希望しない 人数(名) 年齢(歳 ヶ月)(歳 ヶ月)

託児をご希望される方はお早めにお申込み下さい。



■ E-MAIL でのお申込み ■

uketuke@yamagatarensen.net

上記E-MAILアドレスもしくは左記QRコードよりメールを起動し、氏名、連絡先、説明会と交流会の参加希望、昼食の要不要、託児のご希望をご記入の上、ご送信下さい。

■ 電話でのお申込み ■

023-665-4494

電話受付時間：平日午前10時から午後4時まで。
氏名、連絡先、説明会と交流会の参加希望、昼食の要不要、託児のご希望を係りの者までお伝え下さい。
期日直前は電話が混みあいがかりにくくなる場合があります。あらかじめご了承下さい。

【お問合せは】



一般社団法人 山形県被災者連携支援センター
TEL 023-665-4792 FAX 023-665-4793
E-mail: info@yamagatarensen.net

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業
第1回支援情報説明会

日時：2014年6月29日(日)10:05~11:50
場所：山形県生涯学習センター(遊学館)第二研修室(3階)

次 第

開会	(10:05)
あいさつ	復興副大臣 浜田 昌良 氏 (10:05~)
出席者紹介	(10:10~)
1. 「信じ合い、助け合える社会」の復興とは	(10:15~)
一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ 代表理事 志村 季世恵 氏	
2. 福島県避難者意向調査の結果について	(10:30~)
福島県生活環境部避難者支援課 主任主査 中木 秀夫 氏	
3. 甲状腺検査について	(10:40~)
福島県保健福祉部県民健康調査課 主幹 角田 祐喜男 氏	
4. 山形県における避難者支援について	(10:50~)
山形県環境エネルギー部危機管理・くらし安心局危機管理課 復興・避難者支援室 復興・避難者支援主査 鈴木 智之 氏	
5. 放射線リスクに関する基礎的情報について	(11:05~)
復興庁 主査 角田 崇之 氏	
6. 質疑応答	(11:15~)
閉 会	(11:50)
~ 休憩(20分間) ~	(11:50~12:10)
交流会	(12:10~14:00) 以上

ウ) 東京都

i. 開催案内 (表面)

新潟県内に自主避難されている皆様へ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会

自主避難者交流会のご案内

日程 平成26年6月26日(木)10時開場

内容

10:15 - 支援情報の説明

- 1 避難先自治体からの説明
- 2 避難元自治体からの説明
- 3 復興庁からの説明
- 4 質疑応答

12:15 - 自主避難者交流会

・昼食付き
・終了 14:00 (途中退席可)

※託児あります (事前予約制)

お申込み・お問合せ

特定非営利活動法人

新潟 NPO 協会

住所 : 新潟市東区猿ヶ馬場 2-2-16

TEL : 070-6671-2051

FAX : 025-288-6016

E-MAIL : niigata.cas@flip-lab.jp

お申込み方法は裏面をご覧ください。

会場

デンカビッグスワンスタジアム
大会運営室 4A

※平成26年1月1日よりビッグスワンの名称が変更されました。

新潟市中央区清五郎 67 番地 12

【公共交通機関】

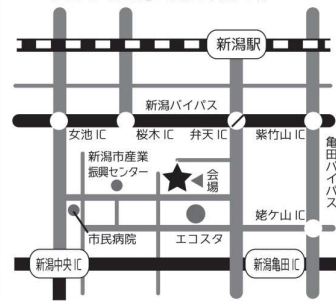
新潟駅南口 ① 番バスのりば から乗車 約 20 分

9:10 発 新潟市民病院行

もしくは

9:30 発 新潟市民病院経由曾野木ニュータウン行

どちらも「清五郎」バス停下車徒歩3分



【お車で越しの方へ】

産業振興センター側十字路「ビッグスワン前」から
正面玄関前駐車場をご利用下さい。

(裏面)

宛先：新潟 NPO 協会 復興庁事業担当

申し込み締め切り

平成 26 年 6 月 23 日 (月曜日) 18 時まで

■ FAX での参加お申込み ■

FAX : 025-288-6016

この用紙に記入して FAX して下さい。

氏名	(ふりがな)
連絡先 (いずれか)	TEL: E-MAIL :
説明会	参加する ・ 参加しない
交流会	参加する ・ 参加しない ※参加する方のみ (昼食付き・昼食なし)
託児希望	希望する ・ 希望しない 人数(名) 年齢(歳 ヶ月)(歳 ヶ月)

託児をご希望される方はお早めにお申込み下さい。

■ E-MAIL での お申込み ■

niigata.cas@flip-lab.jp

氏名、連絡先、説明会と交流会の参加希望、昼食の要不要、託児のご希望をご記入の上、送信下さい。

■ 電話 での お申込み ■

070-6671-2051

電話受付時間：平日午前 10 時から午後 4 時まで。

氏名、連絡先、説明会と交流会の参加希望、昼食の要不要、託児のご希望を係りの者までお伝え下さい。

期日直前は電話が混みあい繋がりにくくなる場合があります。あらかじめご了承下さい。

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業
第1回支援情報説明会

日時：2014年6月26日（木）10：15～12：05
場所：デンカビッグスワンスタジアム 大会運営室4A

次 第

- ・ 開会 10：15
- ・ 出席者紹介
- 1. 「福島県避難者意向調査の結果について」 10：20
 福島県生活環境部避難者支援課 主査 田中 泰之 氏
 主事 佐原 一史 氏
- 2. 「甲状腺検査について」 10：40
 福島県保健福祉部県民健康調査課 主査 竹内 朋紀 氏
- ・ 休憩（10分） 11：10
- 3. 「今年度の新潟県内における避難者支援について」 11：20
 新潟県県民生活・環境部広域支援対策課 係長 押見 義則 氏
 係長 浅野 英明 氏
- 4. 「放射線リスクに関する基礎的情報について」 11：45
 復興庁 参事官補佐 荒木 貴志 氏
- ・ 閉会 12：05
- ・ 交流会（～14：00） 12：15
 以上

新潟県

i. 開催案内

被災地から大阪府へ避難されている皆様へ

支援情報説明会

自主避難者交流会のご案内

日時

2014年6月28日（金）

14：00～17：00

場所

阿倍野市民学習センター 第4会議室

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-10-1-300
あへのベルタ3階

地下鉄谷町線
「阿倍野」駅7号出口より
あへのベルタ地下2階通路を通りエスカレーターで3階へ
地下鉄御堂筋線
地下鉄御堂筋線「天王寺」駅より徒歩8分
JR
「天王寺」駅より徒歩8分
近鉄
「大阪阿部野橋」駅より徒歩8分
阪堺電軌
「阿倍野」駅すぐ



プログラム

14：00
支援情報の説明
 ●避難元自治体より
 ●大阪府自治体より
 ●質疑応答

16：00
自主避難者交流会

17：00 終了

※託児も受け付けております。

主催団体

特定非営利活動法人
み・らいず

〒559-0015
大阪市住之江区南加賀屋
4-4-19
TEL：06-6685-6699
（担当：東）
FAX：06-6683-5532
☎：anshin_osaka@me-rise.com

●活動内容（一部紹介）

障害児・者支援
余暇支援など
子ども・若者支援
発達障害や不登校児の学習支援
まちづくり
小学生の子どもたちへのイベント
高齢者支援
余暇支援など
東日本大震災支援
ほっとスペース石巻
いしのまきカフェ「J」
堺市内避難者支援事業

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業

第1回支援情報説明会

日時：2014年6月28日（土）14：00～16：00

場所：阿倍野市民センター 第4会議室

次 第

開会（14：00）

出席者紹介

1. 福島県避難者意向調査の結果について（14：05～14：25）
福島県生活環境部避難者支援課 副主査 横澤 昌寛 氏

2. 甲状腺検査について（14：25～14：55）
福島県保健福祉部県民健康調査課 主幹 小谷 尚克 氏

（休憩 10分）

3. 東日本大震災 復興支援プラン～大阪から復興を支えるために～（15：05～15：20）
大阪府政策企画部危機管理室災害対策課 課長補佐 脇川 智浩 氏
大阪府政策企画部危機管理室防災企画課 課長補佐 石田 暁 氏

4. 放射線リスクに関する基礎的情報について（15：20～15：40）
復興庁 参事官補佐 荒木 貴志 氏

5. 福島の子どもたちに寄り添いながら（15：40～16：00）
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授 本多 環氏

閉会（16：00）

以上

閉会后、同会場にて交流会を行います。（16：00～17：00）

第2回 平成26年9月4日～27日

ア) 北海道

i. 開催案内（表面）

福島県から北海道へ自主避難されている皆様へ

復興庁「平成26年度 県外自主避難者等への情報支援事業」

第2回 支援情報説明会のご案内

日 時 2014年9月27日（土）
13：30～16：30

交流会
も開催します。

場 所 函館市地域交流まちづくりセンター
函館市末広町4番19号

福島第一原子力発電所事故の影響により、福島県から北海道へ自主避難をされているみなさまを対象に、下記内容の支援情報説明会を開催します。
皆さまのご参加をお待ちしております。

■内 容

13：30～ 開会・挨拶（司会）NPO法人北海道NPOサポートセンター

13：40～ 第1部 支援情報説明会

1. 福島県からの情報提供
2. 北海道からの情報提供
3. 有識者からの情報提供（予定）

15：30～ 第2部 交流会

16：30 閉会

【問合せ先】 特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター
TEL 011-299-6940 FAX 011-299-6941
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

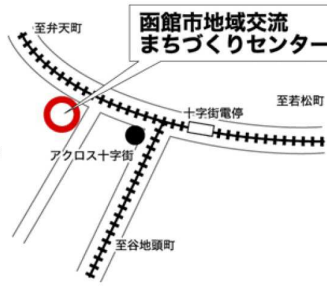
(裏面)

函館市地域交流まちづくりセンター

函館市末広町 4 番 19 号
TEL : 0138-22-9700

【交通機関】

- ・市電 十字街電停徒歩 1 分 (函館市企業局交通部)
- ・函館バス 十字街バス停徒歩 0 分
(函館バス ウェブサイト)



- 参加費 個人負担なし
- 申込方法 FAX、E-mail にて、下記についてお知らせください。
 - ・参加者の氏名・住所・電話番号・E-mail アドレス
 - ※ E-mail でのお申込みの際は、件名に「9月27日支援情報説明会申込み」とお書きください。
 - ・お子さん連れの方は、お子さんの名前・年齢
- 申込み締切 9月25日(木) 17時まで
- 実施主体 復興庁
- 事業管理者 株式会社三菱総合研究所
- 受託事業者 特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター



参加申込書

ファックス送信先 北海道NPOサポートセンター FAX 011-299-6941

※お子さんの場合は年齢もお書きください。

参加者氏名	年齢	参加者氏名	年齢

○連絡先

TEL _____ 携帯 _____

住所 _____

E-mail アドレス(PC) _____

E-mail アドレス(携帯) _____

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業
第2回 支援情報説明会

日時：2014年9月27日(土) 13:30~16:30
場所：函館市地域交流まちづくりセンター 2F フリースペース
(函館市末広町4番19号)

次 第

開 会 (13:30)

※ 各説明後に質疑応答の時間を設けます。

出席者紹介

1. 「福島県避難者意向調査の結果について」 (13:40~)

福島県生活環境部避難者支援課 副主査 横澤昌寛 氏
福島県北海道事務所 主査 安部宏宣 氏

2. 「平成26年度 北海道の支援事業について」 (14:10~)

北海道総合政策部地域づくり支援局
地域政策課道外被災地支援グループ 主事 今 宏幸 氏
(14:30~休憩10分間)

3. 「居住福祉法学と福島原発事故問題」 (14:40~)

一 特に自主避難者の居住福祉に焦点を当てて
北海道大学法学研究科教授 吉田邦彦 氏

閉 会 (15:30)

以上

閉会后、同会場にて交流会を行います。(15:40~16:30)

イ) 山形県

i. 開催案内

福島県から山形県内に自主避難されているみなさんへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

特設相談会のご案内

今回は山形県が開催する「避難者相談・交流会」の中に、山形県被災者連携支援センターの特設相談ブースを開設いたします。みなさまどうぞお気軽にお越しください。

日程

平成26年9月20日(土)
12時00分より

内容

- ・避難生活に関すること、今後のこと、どんなことでも気軽に相談出来る。山形連セン特設相談ブースです。
 - ・内容に応じて、個室での相談対応も出来ます。
 - ・綿あめのセルフメイキングコーナーも併設しておりますので、お楽しみください。
- ※12:00~14:00までのプログラムとなります。

会場

置賜総合文化センター
ホール・研修室
(山形県米沢市金池3丁目1番14号)



※山形県「避難者相談・交流会」スケジュールはこちらです。

10:30~ 開会・セレモニー

10:45~ 宮城県・福島県の説明会

12:30~14:30 出身地域毎の交流会

☆12:00~15:00の間、色々なテーマの相談ブースが会場内に開設されます。
(開設の時間帯はブース毎に異なります。)

15:00 閉会

☆皆さまお誘いあわせの上、是非おいください。
☆当日の詳細お問合せは、下記窓口にて承ります。



一般社団法人 山形県被災者連携支援センター
TEL 023-665-4792 FAX 023-665-4793
E-mail : info@yamagatarensen.net

ウ) 東京都

i. 開催案内 (表面)

福島県から東京都へ自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会・交流会 ご案内

福島第一原子力発電所事故の影響により、福島県から東京都へ自主避難されている皆様を対象に、福島県、東京都の行政支援に関する説明会と、避難されている方々のつながりの場の提供として交流会を開催いたします。

開催日 平成26年9月7日(日)

開催会場 住友不動産新宿オークタワー 1階会議室ルーム2 裏面参照
東京都新宿区西新宿6-8-1

内容

13:30	開場
13:45	説明会趣旨説明
13:50	福島県からの情報提供
14:10	東京都からの情報提供
14:45	有識者からの情報提供
	テーマ:健康自己管理
	講師:中山 健夫 氏(京都大学大学院医学研究科教授)
15:25	交流会
16:45	終了(予定)

お申込み、お問合せ先
電話、メールまたはファックスにて、下記までご連絡ください。

特定非営利活動法人
医療ネットワーク支援センター
電話 03-6438-2852 (平日10:00~17:00)
F A X 03-6438-2851
E-mail info@medical-bank.org 裏面参照

申込締切 平成26年9月4日(木)

(裏面)

会場案内



<アクセス>

- 地下鉄東京メトロ丸の内線「西新宿駅」2番出口徒歩2分
- 地下鉄都営大江戸線「都庁前駅」A7出口徒歩6分
- JR線・小田急線・京王線「新宿駅」西口徒歩12分

参加申込書

申込締切
平成26年9月4日(木)迄

電話、メールでお申し込みの際は、以下の必要事項をお知らせください。ファックスの場合は以下の必要事項をご記入の上お送りください。

FAX番号：03-6438-2851 電話番号：03-6438-2852

参加者のお名前	年齢	参加者のお名前	年齢
①		④	
②		⑤	
③		⑥	

■お申込者連絡先

TEL _____ 携帯電話 _____
住所 _____

頂いた個人情報は、本説明会・交流会のお知らせのみに使用いたします。

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業 第1回 支援情報説明会・交流会

開催日時：2014年9月7日(日)13:45～16:30
開催会場：住友不動産新宿オークタワー 1階
会議室ルーム1

次第

- ・開会 13:45
- ・出席者紹介
- ・説明会趣旨説明

- ① 福島県避難者意向調査の結果について 13:50
福島県生活環境部避難者支援課 主任主査 豊田 吉彦 氏

- ② 東京都が現在行っている避難者支援施策について 14:20
東京都総務局 復興支援対策部 都内避難者支援課
課長補佐 川崎 邦昭 氏

- ③ 「健康自己管理」について 14:35
京都大学大学院医学研究科教授 中山 健夫 氏

- ・閉会 15:10
- ④ 交流会 15:15

- ・終了 16:30

エ) 新潟県

i. 開催案内（表面）

福島県内から新潟県内に自主避難されている皆様へ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

福島県内自治体との意見交換会

事前申込み開始し配布

ご案内

内容 福島県内の最新の復興や支援に関するご説明と、福島県内自治体と皆様による意見交換

日時 平成26年9月18日（木）
11:00～13:45 ※開場 10:45 ※途中参加、途中退場できます

会場 HARD OFF ECO スタジアム新潟 会議室4
新潟県新潟市中央区長潟字新田前 570 番地

参加予定自治体 福島県内の自治体
※避難元自治体など、皆様が意見交換を希望される自治体（市町村）をお知らせ下さい。詳しくは「裏面」をご覧ください。

その他 ・お昼に軽食をご用意しております。
・託児完備（事前予約が必要です）

会場地図



お申込み

軽食手配の都合上、9月16日（火）迄に参加のお申込みを頂けると幸いです。（詳しくは裏面をご覧ください）
※事前のお申込みを頂かなくても当日参加できます。
※託児が必要な方は事前にお申込みをお願いします。

【事前お申込み先】
（特非）新潟 NPO 協会 避難者支援事業担当
■電話でのお申込み（平日 10:00～16:00 まで）
TEL：070-6671-2051
※8月14日（木）と15日（金）はお休みです
■メールでのお申込み
niigata.cas@nip-lab.jp

（裏面）

裏面

福島県内自治体との意見交換会

■事前の参加お申込みをお願い致します。

大変お手数ではございますが、会場・軽食手配の都合上、参加をご予定される方につきましては、9月16日（火）までに事前の参加お申込みをお願い致します。

下記お申込み先まで、次の内容を添えてお申込み下さい。

- ・お名前 ・避難元（市町村まで） ・避難先（市町村まで）
- ・ご連絡先（メールアドレスまたは電話番号）

託児が必要な方は次の内容もお願い致します。

- ・託児を希望されるお子様の人数 ・お子様の年齢 ・お子様の性別

※事前のお申込みを頂かなくても当日参加できます。
※ただし、託児が必要な方につきましては、事前のお申込みが必要となります。

■参加予定自治体に対する皆様からのご要望をお寄せ下さい。

ご自身の避難元自治体など、本会での情報説明や意見交換を希望される市町村がございましたら、8月25日（月）までにご連絡下さい。
お寄せ頂いたご希望をもとに、それぞれの自治体に参加を要請致します。

※都合により、必ずしもご希望の自治体の参加が適わない場合もございます。予めご了承下さい。
※お寄せ頂きましたご希望の自治体の参加の可否につきましては9月上旬までに郵送にてご連絡致します。

参加お申込み／参加予定自治体に対するご要望は下記で承ります。

（特非）新潟 NPO 協会 避難者支援事業担当

- 電話 ： 070-6671-2051（平日 10:00～16:00 まで。8月14日（木）と15日（金）はお休みです）
- FAX ： 025-288-6016（24 時間受付）
- メール ： niigata.cas@nip-lab.jp

※新潟市避難者交流施設「ふりっぷはうす」でもお申込み／ご要望を承ります。

オ) 京都府

i. 開催案内 (表面)

京都府内に自主的に避難されている福島県ご出身の皆様へ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会・交流会のお知らせ

現在の復興状況・支援情報・今後の生活についての情報を説明すると同時に、皆様からのご質問や要望などを直接お伝えできる、説明会と交流会のご案内です。
昼食やリラクسسコーナ-もご用意しておりますので、ぜひお誘いあわせの上ご参加くださいませ。

【日時】 平成26年9月6日(土) 11:00~14:00

【場所】 「聞法会館」1階和室(京都市下京区堀川通花屋町上ル 西本願寺北)

【内容】 ※それぞれのお話のあと、質疑応答の時間も設けます。

10:45~開場

11:00~開会

「京都府からの情報提供」 1. 京都府の住宅支援の仕組みについて
2. 京都ジョブパークの就労支援について

11:30~「有識者からの情報提供」

福島大学つくしまふくしま未来支援センターこども・若者支援部門
本多 環 先生のお話

12:00~ 昼食(矢尾定さんお弁当:無料)&交流会&リラクسسコーナ-(足裏マッサージ)

13:00~「福島県からの情報提供」

14:00 閉会(個別相談もできます)

※入退場は自由です。昼食はご持参いただいてもかまいません。託児もご準備できます。

※お申し込み方法は、裏面をご覧ください。

【アクセス】

車の場合

・西本願寺北境内駐車場(無料)をご利用ください。

市バスご利用の場合

・JR京都駅から9、28、75号系統「西本願寺前」下車
進行方向(北)に徒歩5分

徒歩の場合

・JR京都駅より徒歩約20分

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 和(なごみ)

電話 075-353-5181 (事務所)

080-4414-8654 (携帯)

メール info@fucco-nagomi.com



(裏面)

説明会 & 交流会 参加申込用紙

締切: 9月3日(水) 17:00まで

Registration form with fields for name, contact info, number of participants, residence, meal preferences, and childcare needs.

質問事項をご自由にお書きください。説明会にて回答できるようにご準備いたします。
例) ○○市の除染計画が知りたい。移住支援について知りたい。子どものことが気になる。

お申し込みの際、上記の内容をお伺いいたします。FAXの場合は直接記入してお送りください。
メールの場合は、できるだけ上記の項目についてご記入の上、送信してください。
お預かりした情報は適切に保管し、目的外には使用いたしません。

宛先 特定非営利活動法人 和

電話番号 075-353-5181

FAX番号 075-353-5185

メール info@fucco-nagomi.com

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業
第1回 支援情報説明会

【日時】 2014年9月6日(土)11:00~14:00(開場 10:45~)
【場所】 関法会館1階和室 (京都市下京区堀川通花屋町上ル)

次 第

1. 「京都府の住宅支援の仕組みについて」 (11:00~11:15)
京都府府民生活部 防災原子力安全課 被災地応援担当課長 細野昭和氏
2. 「京都ジョブパークの就労支援について」 (11:15~11:30)
京都府商工労働観光部総合就業支援室京都ジョブパーク総括
担当課長 南本尚司氏
3. 「避難を経験した子どもたちの現状と今後の支援について」 (11:30~12:00)
福島大学つくしまふくしま未来支援センター こども・若者支援部門
本多 環 先生
4. 昼食&交流会(12:00~13:00)
自由なお席で昼食を食べながら、交流していただきます。
足裏マッサージコーナーもご用意しております。
5. 福島県避難者意向調査の結果について (13:00~13:30)
福島県生活環境部避難者支援課 石山和仁氏
6. 質疑応答・個別相談等 (13:30~14:00)

以上

※ 閉会後も、個別相談・足裏マッサージ受付可能です。

カ) 岡山県

i. 開催案内 (表面)

福島県から岡山県に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

第1回 支援情報説明会 のご案内

現在、福島県から岡山県に自主避難されている方を対象に、支援情報の説明会を開催します。
皆さまが感じておられる不安や疑問の解消に、少しでもお役にたてるような
機会にしたいと考えております。どうぞお気軽にご参加ください。

日 時 平成 26年 9月 13日 (土) 10:00~13:00

場 所 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」707会議室
(岡山市北区南方二丁目13-1)

- 内 容
- 10:00~ 開会
 - 10:10~ 1.福島県からの情報提供
2.岡山県からの情報提供
3.有識者からの情報提供(予定)
 - 11:45~ 昼食をとりながら交流会
 - 13:00 閉会

お昼ごはんを食べながら、
お話しませんか?
昼食を準備して
お待ちしております。
(希望される方 無料)

託児
あります

○アクセスマップ



岡山駅からのアクセス

○徒歩:約15分 ○自動車:来館者用駐車場有

○路線バス(岡山駅バスターミナルより)

乗り場	宇野バス	岡電バス	中鉄バス
12	2	12	もしくは13
行き先	宇野 ネオポリス9丁目 山陽団地 ネオポリス東6丁目 町南田 仁徳	三野(平田山陽団地) 砂倉(岡大)	全路線
降り口	「番町口」下車、 西へ徒歩約3分	「番町口」下車、 西へ徒歩約3分	「路線橋東」下車、 北へ徒歩約4分

○お申し込みは、電話かfax、メールにてお申し込みください。
詳細は裏面をご覧ください。

(裏面)

第 1 回支援情報説明会

- 定員 30名(お子さま連れでご参加いただけます)
- 参加費 無料
- 昼食 無料にてご提供いたします。(ご希望をお聞かせください。)
- 実施主体 復興庁
- 事業管理者 株式会社三菱総合研究所
- 受託事業者 特定非営利活動法人 岡山NPOセンター 協力:うけいれネットワークほっと岡山
- 申込方法 電話、Fax、E-mailにてお申し込みください。
- 電話
070-5670-5676 (電話受付時間:火曜～金曜、10:00～16:00)
氏名、連絡先、説明会と交流会の参加希望、昼食の要不要、託児のご希望をお伝えください。
- E-mail
hotokayama@gmail.com
件名「9月13日説明会申し込み」とご記入のうえ、氏名、連絡先、説明会と交流会の参加希望、昼食の要不要、託児のご希望を明記し送信ください。
- Faxは、下記にご記入のうえ、送信ください。

参加申込書

Fax 086-224-0997

特定非営利活動法人 岡山 NPO センター行

氏名	<small>(ふりがな)</small>		
連絡先	Tel Fax E-mail		
説明会	参加する・参加しない	交流会	参加する・参加しない
昼食	希望する・希望しない	託児	希望する・参加しない 人数(名)年齢(歳)カ月、歳(カ月)
今後知りたい情報等について、他、よろしければご自由にご記入ください。			

【個人情報の利用目的について】ご記入いただいた個人情報は、県外自主避難者等への情報支援事業のみ利用させていただきます。

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業

第 1 回支援情報説明会

日時: 2014年9月13日(土) 10:00～13:00
場所: 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館
「きらめきプラザ」707 会議室

次 第

開会 (10:00)

出席者紹介

1. 福島県避難者意向調査の結果について (10:10～10:40)
福島県生活環境部避難者支援課 山崎智弘 氏
2. 岡山県における避難者支援の状況について (10:40～11:10)
岡山県危機管理課 大杉 雄大 氏

(休憩 10分)

3. 避難者支援のあり方について (11:20～11:50)
大阪市立大学 大学院経営学研究科 教授 除本 理史 氏
4. 昼食をとりながら交流会 (11:50～13:00)

閉会 (13:00)

以上

キ) 福岡県

i. 開催案内 (表面)

福岡県に避難されているみなさまへ

<復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」>

支援情報説明会

自主避難者交流会のご案内

日程

平成26年9月4日(木)午前10時開場

会場

博多バスターミナル 9階
ホール10・11

福岡市博多区博多駅中央街2-1
<アクセス>
JR博多駅(博多口)から徒歩1分



☆福岡各地から博多バスターミナル行きバスが運行されています。
☆お車でお越しの方は、JR博多駅地下駐車場が便利です。

内容

10:15~ 支援情報説明会

- ①福島県からの情報提供
- ②福岡県からの情報提供
- ③有識者からの情報提供(予定)

12:15~ 交流会
<昼食を準備しております>

福岡県へ避難されている方々同士の交流の場として、昼食を一緒にしながら和やかに過ごしませんか？

13:30頃 終了予定

お申込み・お問合せ
一般社団法人 市民ネット

住所:福岡市博多区東平尾1-3-6-601
電話:092-409-3891
FAX:092-409-3892
メール:info@snet-fukuoka.org

◎裏面の参加申込書によりお申し込みください。(メール又はお電話でもお受けしています。)

※参加費は無料ですので、お気軽にお申し込みくださいませ。

(裏面)

参加申込書

一般社団法人市民ネット 行

FAX:092-409-3892

皆様のご昼食を準備させていただきますので、誠に恐れ入りますが必要事項を記入の上 FAXにてお送りください。(メール又はお電話でもお受けしています。)

お名前 (代表者)	(ふりがな) 合計参加人数: 名
現住所	
ご連絡先	電話: メール:
説明会	参加する ・ 参加しない (どちらか一方に○印をお願いします。)
交流会	参加する ・ 参加しない (どちらか一方に○印をお願いします。)
託児希望 (無料です)	希望する ・ 希望しない (託児ご希望の方) ご人数(名) ご年齢(歳)(歳)(歳)
ご要望	※食事のアレルギ-、交流会時の話題提供希望などをご記入ください。

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業

第1回支援情報説明会

日時:2014年9月4日(木)10:15~13:30
場所:博多バスターミナル 9階ホール11

次 第

開会(10:15)

出席者紹介

1. 福島県避難者意向調査の結果について(10:20~)

福島県生活環境部避難者支援課 副主査 渡邊 孝大 氏

2. 福岡県における各支援情報、地域情報について(10:50~)

福岡県福祉労働部福祉総務課企画班 時安 紀美代 氏

3. 向き合う事の大切さ~活動体験からの報告~(11:20~)

一般社団法人産業カウンセラー協会 九州支部長 小野 元 氏

閉会(11:50)

以上

※各説明後に質疑応答の時間を設けます。

閉会后、同会場にて交流会を行います。(12:15~13:30)

第3回 平成26年12月5日~20日

ア) 山形県

i. 開催案内(表面)

福島県から山形県に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会・交流会 のご案内

福島第一原子力発電所事故の影響により、福島県から山形県へ自主避難をされた方々を対象に、福島県からの復興状況等に関する説明と、県内各地へ避難されている方々の繋がり場としての交流会を開催いたします。震災から3年を経た今、あなたの想いをこの機会に共有しませんか？
なお、御参加いただいた皆さまには、ベルギーチョコレート等のお土産があります。(※お土産の数量には限りがございます。ご了承ください。)

日時 平成26年12月11日(木) 17時開場

託児所付 夕食付

会場 山形テルサ リハーサル室
山形市双葉町1丁目2番3号(裏面参照)

内容 17:05~ 開会・挨拶・出席者紹介
17:10~ 第1部 支援情報説明会
17:35~ ~ 休憩(5分間) ~
17:40~ 2.有識者による講演
18:40~ 第2部 交流会
19:40 閉会
19:45~ ミニコンサート&避難生活応援メッセージ
20:15 終了

ミニコンサート
もあります。

講師のプロフィール



うみはら じゅんこ
海原 純子
日本医科大学特任教授

プロフィール/東京慈恵会医科大学卒。心療内科医、医学博士。ハーバード大学客員研究員を経て現職。日本ストレス学会評議員、日本ポジティブサイコロジー医学学会理事。女性のストレス性疾患のサポートには定評があり、読売新聞人生案内回答者として連載執筆中。また、震災後は、避難所となった埼玉アリーナで呼吸法やボディーワークをもとにしたリラクゼーションングの実施や避難所でのボランティア活動を行う。2013年10月から2014年3月まで復興庁心の健康サポートセミナー事業の統括責任者として被災地で講演及び講習会を行う。近著に「困難な時代の心のサブリ」(毎日新聞社)などがある。

【お問合せは】 一般社団法人 山形県被災者連携支援センター
TEL 023-665-4792 FAX 023-665-4793 E-mail: info@yamagataresen.net

☆裏面をご参照の上、お申し込みください。

(裏面)

会場案内

山形テルサ

山形市双葉町1丁目2番3号

- JR山形駅より徒歩3分。
- 270台程度収容可能な駐車場があります。
(当日駐車代は無料となりますので、ご利用の方はお申し出ください。)



申込締切:平成26年12月5日(金) 18時まで

■ FAX でのお申込み ■

FAX: 023-665-4793

この用紙に記入してFAXして下さい。

氏名	(ふりがな)
連絡先 (いずれか)	TEL: E-MAIL:
支援情報説明会	参加する ・ 参加しない
交流会	参加する ・ 参加しない ※参加する方のみ (夕食付き・夕食なし)
託児希望	希望する ・ 希望しない 人数(名) 年齢(歳 ヶ月)(歳 ヶ月)

託児をご希望される方はお早めにお申込み下さい。



■ E-MAIL でのお申込み ■

uketuke@yamagatarensen.net

上記E-MAILアドレスもしくは左記QRコードよりメールを起動し、氏名、連絡先、説明会と交流会の参加希望、夕食の要不要、託児のご希望をご記入の上、ご送信下さい。

■ 電話 でのお申込み ■

023-665-4494

電話受付時間: 平日午前10時から午後4時まで。
氏名、連絡先、説明会と交流会の参加希望、夕食の要不要、託児のご希望を係りの者までお伝え下さい。
期日直前は電話が混みあい繋がりにくくなることがあります。あらかじめご了承下さい。

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業 第3回支援情報説明会・交流会

日時: 2014年12月11日(木) 17:05~19:40

場所: 山形テルサ リハーサル室(山形市双葉街1-2-3)

次 第

開 会 (17:05)

出席者紹介 (17:05~17:10)

1. 「福島県総合計画と復興のあゆみについて」(17:10~17:35)
福島県企画調整部復興・総合計画課 主査 矢吹 勇雄 氏

2. 「心が元気になるために」(17:35~18:35)
日本医科大学特任教授 海原 純子 氏

休 憩 (18:35~18:40)

3. 交流会 「県内各地の避難者同士の交流」(18:40~19:40)

閉 会 (19:40)

※19時45分から20時15分まで、当団体の独自の取り組みとして、ミニコンサートを実施します。

以上

イ) 東京都

i. 開催案内 (表面)

福島県から東京都へ自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

相談コーナーのご案内

東日本大震災により県外避難されている方々を対象とした交流イベント「第32回 こっちゃ来たらいいべえ」において、健康や生活に関する相談コーナーを開設いたします。はじめての方もお気軽にご参加いただけますので、お問い合わせの上ぜひお越しください。

■日 時 / 平成26年 **12月7日(日) 12:00~16:00**

■参加費 / 無料

■会場 / アサヒグループ本社ビル 3階会議室
(東京都墨田区吾妻橋1-23-1)

当日の連絡先: 070-5545-0659

■主催 / 特定非営利活動法人

医療ネットワーク支援センター
相談コーナー

- ・健康相談 (医師または看護師)
- ・口腔ケア相談 (歯科衛生士)
- ・生活に関すること (福島県、東京都職員) 等、お気軽にご相談いただけます。



他にも、クリスマスミニコンサート、交流カフェ、ハンドケア、ネイルケアなど、様々なアクティビティもお楽しみいただけます!



お申込み

■受付開始 / 平成26年11月17日(月) 10:00am

- ・電話にて『お名前、電話番号、現住所、避難前の地元地域 (○町○)、参加人数』をお知らせください。
- ・ファックスは裏面をご利用ください。
- ・バスは先着順で定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- ・バスルートの詳細は裏面をご確認ください。

■お問合せ先 / 特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター
電話. **070-5545-0659** (平日 10:00~17:00) / FAX. **03-6438-2851**

参考2-17

(裏面)

送迎バスルートのご案内

当日送迎バスを利用される方には、申込受付後に停留場所の地図を八ガキでお送りいたします。

■西ルート	往路	復路	●バスをご利用の方は事前にお申込みください。定員になり次第締め切りとなりますので、あらかじめご了承ください。 ●定員: 各ルート50人。 ●バスは予定時刻に発車します。遅れないよう集合してください。 ●キャンセルの場合は必ず事前にお電話ください。 ●やむを得ない理由で当日キャンセルの場合は、 070-5545-0659 まで必ずお電話ください。 ●昼食をご希望の方も事前にお申込みください。
セブン-イレブン阿佐ヶ谷北6丁目店前 <small>(杉並区阿佐ヶ谷北6-30-9) ※中杉通り沿い、薄所院 右斜め向かい</small>	10:20発 ↓	17:40着 ↑	
東京都中央卸売市場 淀橋市場前 <small>(新宿区北新宿 4-2-1)</small>	10:40発 ↓	17:15着 ↑	
新宿駅西口 <small>※工学院大前</small>	11:00発 ↓	17:00着 ↑	
【会場】 アサヒグループ本社ビル <small>(墨田区吾妻橋1-23-1)</small>	11:50着 ↓	16:20発 ↑	
■東ルート	往路	復路	
小松川さくらホール前 <small>(江戸川区小松川 3-6-3)</small>	10:20発 ↓	18:10着 ↑	
東雲住宅近辺 <small>(江東区東雲 1-9-9)</small>	10:40発 ↓	17:50着 ↑	
東京駅八重洲中央口 丸の内線治橋駐車場 <small>(千代田区丸の内 3-8-2)</small>	11:20発 ↓	17:10着 ↑	
【会場】 アサヒグループ本社ビル <small>(墨田区吾妻橋1-23-1)</small>	11:50着 ↓	16:20発 ↑	

お申込受付開始
平成26年11月17日(月)

参加申込書 FAX : 03-6438-2851 電話 : 070-5545-0659

ファックスの場合は以下項目にご記入の上お送りください。電話の場合は、以下項目内容をお知らせ下さい。

参加者のお名前	お子様の場合は年齢	避難前の市町村	現住所	連絡先電話番号
例) 山田花子		南相馬市原町区	渋谷区千駄ヶ谷3-12-1-302	090-1111-2222
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
●バス申込み: 上記バスルートをご確認の上、乗車地をご記入ください (西ルート・東ルート/乗車地:)				●昼食申込み: (人)

ご記入頂いた個人情報は、当団体の交流会をはじめとした催し等のお知らせのみに使用いたします。

ウ)新潟県

i. 開催案内 (表面)

福島県から新潟県内に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会・交流会のご案内

日時 平成26年12月16日(火) 10:15 ~ 14:00 (開場10:00)

会場 デンカビッグスワンスタジアム 大会運営室 裏面参照 (新潟市中央区清五郎67番地12)

内容 10:00 開場 10:15 開会

- 有識者による講演「心が元気になるために」 講師：日本医科大学特任教授 海原 純子 氏
福島県からの情報提供「福島県総合計画と復興のあゆみについて」 福島県 企画調整部 復興・総合計画課
避難されている方同士の交流会 (交流会は避難されている方々の情報共有の場として開催します。)
14:00 終了(予定)

講師のプロフィール



うみはら じゅんこ 海原 純子 日本医科大学特任教授

プロフィール/東京慈恵会医科大学卒。心療内科医。医学博士。ハーバード大学客員研究員を経て現職。日本ストレス学会評議員。日本ホシティブサイコロジイ学会理事。女性のストレス性疾患のサポートには定評があり、読売新聞人生案内回答者として連載執筆中。また、震災後は、避難所となった埼玉アリアで呼吸法やホディーワークをもとにしたリラクゼーションの実施や避難所でのボランティア活動を行う。2013年10月から2014年3月まで復興が心の健康サポートセミナー事業の統括責任者として被災地で講演及び講演会を行う。近著に「困難な時代の心のサブリ」(毎日新聞社)などがある。

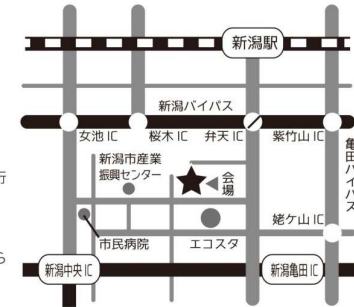
お問合せ先

特定非営利活動法人 新潟NPO協会 新潟市東区猿ヶ馬場2-2-16
TEL:070-6671-2051 FAX:025-288-6016
MAIL:niigata.cas@flip-lab.jp
避難者支援事業担当

(裏面)

会場案内

【会場】 デンカビッグスワンスタジアム 大会運営室 (新潟市中央区清五郎67番地12)
【公共交通】 新潟駅南口①番バスのりばから乗車約20分
09:10 発 新潟市民病院行き
09:30 発 新潟市民病院経由曾野木ニュータウン行
どちらも「清五郎」バス停下車徒歩3分
【お車でお越しの方】 産業振興センター側十字路口「ビッグスワン前」から正面玄関駐車場をご利用下さい。



お申込み

事前のお申込みは不要です。

- 交流会では昼食をご用意しております。
途中入退席できます。
託児をご希望される方は12月11日(木)までに、下記の内容を電話・FAXもしくはE-MAILにてご連絡下さい。

託児予約

※ご記入いただいた個人情報、本事業のみに使用いたします。

※託児予約は12月11日(木)までにお願ひいたします。尚、電話でのご予約は平日10:00-16:00にのみとなります。

保護者の方のお名前

お子様のお名前・性別・年齢

住所・電話番号

特定非営利活動法人 新潟NPO協会 TEL:070-6671-2051 FAX:025-288-6016
MAIL:niigata.cas@flip-lab.jp
避難者支援事業担当

ii. 開催案内 (表面)

県外自主避難者等への情報支援事業
第3回支援情報説明会・交流会

日時：2014年12月16日(火) 10:15~14:00
場所：デンカビッグスワンスタジアム 大会運営室
(新潟市中央区清五郎 67-12)

次第

開会 (10:15)

出席者紹介 (10:15~10:20)

1. 「心が元気になるために」(10:20~11:20)
日本医科大学特任教授 海原 純子 氏

2. 「福島県総合計画と復興のあゆみについて」(11:20~12:20)
福島県企画調整部復興・総合計画課 主幹 長谷部 忍 氏

休憩 (12:20~12:30)

3. 交流会 「県内各地の避難者同士の交流」(12:30~14:00)

閉会 (14:00)

以上

エ) 京都府

i. 開催案内 (表面)

福島県から京都府に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」
支援情報説明会・交流会のご案内

日時 平成26年12月13日(土) 10時30分~

会場 「聞法会館」3F
京都市下京区堀川通花屋町上ル 西本願寺北

MAP
裏面参照

- 内容
- 10:30~ 開会 (受付 10:15~)
復興庁からの説明
・「子ども被災者支援法」関連施策の現在の取組状況
 - 10:45~ 京都府からの説明
・子育てママの就労支援について (京都府マザーズジョブカフェ担当者)
 - 11:05~ 質疑応答
 - 11:30~ 有識者による講演「心が元気になるために」
講師：日本医科大学特任教授 海原純子氏
 - 12:30~ 昼食(無料) & 交流会 & リラックスコーナー (足裏マッサージ)
 - 14:00~ 閉会 ~その後残りの方は自由参加
 - 15:00 終了

入退場自由

託児所あり

矢尾定さん
お弁当

昼食やリラックスコーナーもご用意しておりますので、ぜひお誘いあわせの上ご参加くださいませ。

講師のプロフィール



うみはら じゅんこ
海原 純子
日本医科大学
特任教授

プロフィール/東京慈恵会医科大学卒。心療内科医。医学博士。ハーバード大学客員研究員を経て現職。日本ストレス学会評議員。日本ポジティブサイコロジ-医学会理事。女性のストレス性疾患のサポートには定評があり、読売新聞人生案内回答者として連載執筆中。また、震災後は、避難所となった埼玉アリーナで呼吸法やポティ-ワークをもとにしたリラクxストレーニングの実施や避難所でのボランティア活動を行う。2013年10月から2014年3月まで復興庁心の健康サポートセミナー事業の統括責任者として被災地で講演及び講習会を行う。近著に「困難な時代の心のサブリ」(毎日新聞社)などがある。

お問合せ

特定非営利活動法人 和 わかづ

電話 075-353-5181
(10時~16時)

FAX 075-353-5185

メール info@fuucco-nagomi.com

(裏面)

会場案内

「聞法会館」3F

京都市下京区堀川通花屋町上ル 西本願寺北

【アクセス】

車の場合

・西本願寺北境内駐車場（無料）をご利用ください。

市バスご利用の場合

・JR 京都駅から9、28、75号系統
「西本願寺前」下車、進行方向(北)に徒歩5分

徒歩の場合

・JR 京都駅より徒歩約20分



宛先

特定非営利活動法人 和（なごみ）

電話 075-353-5181（10時～16時）

FAX 075-353-5185 メール info@fucco-nagomi.com

お申し込みの際、下記の内容をお伺いいたします。FAXの場合は直接記入してお送りください。
メールの場合は、下記の項目についてご記入の上送信してください。
お預かりした情報は、目的外には使用いたしません。

支援情報説明会・交流会 参加申込用紙

締切：12月10日（水）17：00まで

お名前	(ふりがな)
ご連絡先	電話 メール (どちらかご記入ください)
参加人数	大人 人 子ども 人
避難元住所	福島県 (市・町・村)
昼食希望 (無料です)	お弁当 個 (会場地下のレストラン「矢尾定」さんのお弁当です)
託児希望	(記入例) さとう なごみ 3歳 3ヶ月
質問事項をできるだけ事前にお書きください。説明会にて回答できるようにご準備いたします。	
復興庁、「子ども被災者支援法」等への質問事項	
福島県、京都府等への質問事項	
その他ご質問	

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業
第2回 支援情報説明会・交流会

【日時】2014年12月13日(土)
10:30~14:00(開場10:15~)
【場所】開法会館3階
(京都市下京区堀川通花屋町上ル)

次第

開会(10:30)

1. 「子ども被災者支援法」関連施策の現在の取組状況(10:35~10:50)
復興庁参事官 佐藤 紀明 氏
2. 「子育てママの就労支援について」(10:50~11:10)
京都府府民生活部男女共同参画課担当課長
ワーク・ライフ・バランス推進担当課長 青山 隆夫 氏
3. 質疑応答(11:10~11:30)
4. 「心が元気になるために」(11:30~12:30)
日本医科大学特任教授 海原 純子 氏
5. 昼食&交流会(12:30~14:00)
自由なお席で昼食を食べながら、交流していただきます。
(途中席替えを予定)
足裏健康法(英国式リフレクソロジー)もご用意しております。
6. 閉会(14:00)

※ 閉会後も、個別相談・足裏健康法(英国式リフレクソロジー)受付可能です。
(15:00まで)

以上

オ) 大阪府

i. 開催案内(表面)

福島県から大阪府に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会・交流会のご案内

日時 2014年12月5日(金) 17:00~20:00

会場 ラコルタ(吹田市立市民公益活動センター)
大阪府吹田市津雲台1-2-1千里ニュータウンプラザ 6階

夕食をご用意して
おります。



内容

- 16:45 受付
- 17:00 開場
- 17:10 有識者による講演
「心が元気になるために」
講師：日本医科大学特任教授
海原純子 氏
- 18:10 福島県からの情報提供
「福島県総合計画と復興のあゆみ
について」
- 19:00 避難されている方同士の交流会
夕食を食べながら、リラックスした雰
囲気でゆったりとした時間をお過ごし
いただきます。
- 20:00 終了予定

※お車でお越しの方は、駐車場代(1000円)を、
こちらでご負担させていただきます。
※会場までのアクセスが困難な方、また会場周辺地域
にお住まいの方で送迎が必要な方はお気軽にご相談
ください。

参加費 無料



日本医科大学特任教授
海原 純子

講師のプロフィール

東京慈恵会医科大学卒。心療内科医。医学博士。ハーバード大学客員
研究員を経て現職。日本ストレス学会評議員。日本ポジティブサイコ
ロジー学会理事。女性のストレス性疾患のサポートには定評があり、
読売新聞人生案内回答者として連載執筆中。また、震災後は、避
難所となった埼玉アリーナで呼吸法やボディーワークをもとにした
リラクストレーニングの実施や避難所でのボランティア活動を行
う。2013年10月から2014年3月まで復興庁心の健康サポー
トセミナー事業の統括責任者として被災地で講演及び講習会を行う。
近著に「困難な時代の心のサプリ」(毎日新聞社)などがある。

お申込み・お問合せについて

FAXでお申込みされる方は裏面の申込用紙をお送りください。メール・電話でのお申込みも
受け付けております。託児の受付も同時に行っております。

※託児につきましては、事前申込みが必要となっておりますのでご注意ください。

(裏面)

第2回 支援情報説明会・交流会 申込用紙

FAX : 06-6683-5532

申込締切 : 12月3日(水) 20:00まで

※ご記入いただいた個人情報は、本事業のみに使用いたします。

氏名(ふりがな)	
連絡先	TEL :
	E-mail :
支援情報説明会	参加する ・ 参加しない
交流会	参加する ・ 参加しない ※参加する方のみ (夕食付き・夕食なし)
託児希望	希望する ・ 希望しない
	人数(名) 年齢(歳 ヶ月) (歳 ヶ月) (歳 ヶ月)

メールでのお申込み

- ・氏名、連絡先(電話番号とメールアドレス)
- ・支援情報説明会参加有無
- ・交流会参加有無
- ・夕食の希望の有無
- ・託児希望の有無を記載の上、

✉ : anshin_osaka@me-rise.com (担当: 東)

電話でのお申込み

☎ : 06-6685-6699 (担当: 東)

<受付時間>

平日 10:00~17:00

NPO法人み・らいずの活動紹介

NPO法人み・らいずは、2001年より障害者への支援からスタートし、活動を広げてまいりました。2011年東日本大震災以降、現地で活動のほか2013年より避難されてこられた母子の方々を対象としたイベント時の託児ボランティアや、スクールソーシャルワーカーや臨床心理士が子ども相談に対応するなどの支援を行ってまいりました。現在は堺市からの委託事業として、堺市内へ避難された方々への訪問や各種イベントを企画・運営しています。また、今年度は、復興庁からの委託事業として、大阪府内の福島県からの自主避難者の方々を対象に、ニュースレターの発送や相談窓口を運営しています。大阪府へ避難された皆様が安心して生活できるような支援活動を目指して、これからも活動を続けてまいります。



ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業
第2回支援情報説明会・交流会

日時 : 2014年12月5日(金) 17:00~20:00

場所 : ラコルタ(吹田市立市民公益活動センター)会議室2,3
吹田市津雲台1-2-1 千里ニュータウンプラザ6階

次第

開会(17:00)

出席者紹介

1. 「心が元気になるために」(17:10~18:10)
日本医科大学特任教授 海原 純子 氏
2. 「福島県総合計画と復興のあゆみについて」(18:10~18:50)
福島県企画調整部復興・総合計画課 主査 矢吹 勇雄 氏

休憩(18:50~19:00)

3. 交流会(19:00~20:00)

閉会(20:00)

以上

カ) 岡山県

i. 開催案内 (表面)

福島県から岡山県に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

特設相談ブースのご案内

岡山県主催の「避難者交流会」にて、「ほっと岡山」の特設相談ブースを設けます。

生活のお悩みや避難者支援でわからないこと、知りたいこと、少しでもお役にたてるような機会にしたいと考えております。どんなことでも気軽にご相談ください。ご参加お待ちしております。

避難者交流会のご案内

日時	平成 26 年 12 月 20 日 (土) 10:00~13:00
場所	岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館 「きらめきプラザ」401 (岡山市北区南方二丁目13-1)
内容	10:00~ はじまりのあいさつ 10:10~ ご自由にご相談や、各種相談(健康、こころなど)、てしごと、アロマケアなどの各ブースでお過ごしいただけます。 「ほっと岡山相談ブース」へもお気軽にお立ち寄りください。 12:00~ 昼食をとりながら交流会 13:00 おわりのあいさつ
参加費	無料
申込方法	別紙(岡山県からのご案内)に詳細が記載されておりますのでそちらをご覧ください。

軽食・託児
あります

お問合せ 当日の詳細など、どうぞお気軽にお問合せください。

岡山NPOセンター

○電話 **086-224-0995** (月~金曜日、9:00~17:00)
○メール **npokayama@gmail.com**

うけいれネットワーク ほっと岡山

○電話 **070-5670-5676** (火~金曜日、10:00~16:00)
○メール **hotokayama@gmail.com**

(裏面)

会場案内

○アクセスマップ

岡山駅からのアクセス
○徒歩:約15分 ○自動車:来館者用駐車場有
○路線バス(岡山駅バスターミナルより)

乗り場	宇野バス	岡電バス	中設バス
行き先	宇野 ネオポリス9丁目 山陽団地 ネオポリス東6丁目 町南田 仁徳	三野(半田山植物園) 砂倉寺(岡大)	全路線
降り口	「春町口」下車 西へ徒歩約3分	「春町口」下車 西へ徒歩約3分	「跡設橋東」下車 北へ徒歩約4分

○お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
駐車場の状況により、ご利用できない場合があります。

実施団体

特定非営利活動法人
岡山 NPO センター

うけいれネットワーク
ほっと岡山

1998年のNPO法成立時から、市民活動・社会事業を取り巻く環境の整備と政策提言、経営支援に取り組む民間組織「NPOを支援するNPO」です。県内で子育て、環境、高齢者、まちづくり…など様々な社会課題解決に取り組む組むNPOや市民団体の支援に取り組んでいます。

以下の3事業部で市民による様々な活動の支援を展開しています。

- ◆NPO事務支援センター：NPO法人やボランティア団体、まちづくり団体、町内会、学童保育、社団・財団法人など、非営利組織の事務を支援します。
- ◆地域連携センター：市民と行政、そして企業をつなぎ、岡山県内のよりよい住民自治と地域課題解決を支援します。
- ◆岡山県ボランティア・NPO活動支援センター(ゆうあいセンター)：岡山県設置の施設です。(岡山県社会福祉協議会と共同で指定管理)「ボランティアへの参加」や「NPO法人の設立」など様々な相談に対応している他、施設・設備の貸出により市民活動を支援します。

今回、うけいれネットワーク ほっと岡山さんと共に、様々なテーマのNPOをつなぐことで、多様な情報提供などをさせていただきます。

避難者相談窓口
「住宅支援はいつまで?」「仕事の相談がしたい」「相談先がわからない」「要望がある」など、ワンストップにて対応します。来所、電話(火曜~金曜、10時~16時)、メールにて対応。相談員は構成団体がローテーションで対応します。お気軽にご連絡ください。

情報発信
HPや紙媒体等にて、主に避難者支援情報を発信しています。

説明会・交流会の開催
避難者支援情報の説明会、交流会、勉強会、生活相談会、広域避難者支援シンポジウムなどの開催や協力をしています。

連携の支援
組織の基礎強化のためのセミナーや勉強会の開催、常設の事務局を設置しています。

政策提言
避難者のみなさんの声を届ける役割を担います。

他ネットワーク等との連携
避難元自治体、受入自治体、また多層な支援団体・ネットワークとの情報共有、調査協力をしています。

支援の窓口
支援のお申し出の窓口としてマッチングやコーディネートを担います。

ネットワーク参加団体

おいでんせよ岡山/子ども未来・愛ネットワーク/よりはぐプロジェクト/さよなら原発ママパパ製作ネットワーク/ネットワーク寺子屋/せとうち交流プロジェクト/YMCA せとうち/やすらぎの泉/転入移住支援センターいまここ/おかげデザイン

キ) 福岡県

i. 開催案内 (表面)

福島県から福岡県に自主避難されている皆さまへ

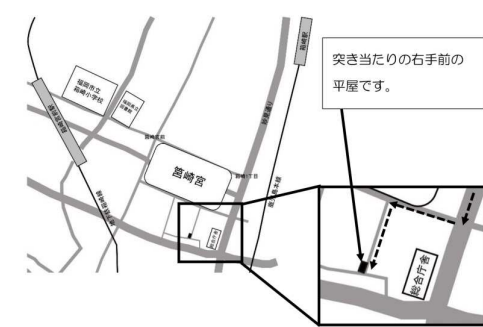
復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」 相談会・交流会のご案内

- 日時** 平成 26 年 12 月 7 日 (日) 10 時～17 時
- 会場** 常設ママズカフェ (12 月 1 日開設予定)
福岡市東区箱崎 1 丁目 20-1
- 内容** 10:00～12:00 個別相談会
12:00～13:30 交流会 (ランチ懇親会) ※昼食無料
14:00～17:00 クリスマス会

会場案内

常設ママズカフェ
福岡市東区箱崎 1 丁目 20-1

【アクセス】
JR 箱崎駅を降りて妙見通りを総合庁舎の方向へ。総合庁舎の一步手前の路地を右に、さらに一つ目の細い路地を左に進むと突き当たりの右手前に古い平屋がございます。そこが常設ママズカフェです。



突き当たりの右手前の平屋です。

お問合せ

一般社団法人市民ネット

電話 092-409-3891 (平日 10 時～16 時)

メール support@snet-fukuoka.org または info@snet-fukuoka.org



参考2-24

(裏面)

参加申込書

FAX : 092-409-3892 一般社団法人市民ネット行

今回はオープン時間を 10 時～ 17 時としておりますので、お好きな時間にお越しください!!
また、皆さまの飲み物・お茶菓子・軽食もご用意しております。誠に恐れ入りますが、必要事項を記入の上 FAX にてお送りください。(メール又はお電話でもお受けしています)

お名前 (代表者)	(ふりがな) 合計参加人数 名
現住所	
ご連絡先	電話 : メール :
個別相談会 (10:00～12:00)	参加する・参加しない
ランチ懇親会 (12:00～13:30)	参加する・参加しない
クリスマス会 (14:00～17:00)	参加する・参加しない
その他ご要望	

一般社団法人市民ネット

2011 年 4 月、前身となる東日本大震災被災者支援ふくおか市民ネットワークを設立。2014 年 4 月法人化し、現在の名称に変更。震災から数年経った現在も広域避難者の相談窓口業務ならびに避難受け入れ業務を行っています。また、毎月 1 回避難者同士の交流を目的とした交流親睦会「ママズカフェ」を開催。避難者からの相談に応じて個別に対応を行い、就業、住居、子育て、医療などの分野に分けて支援サービスを展開しています。

第4回 平成27年2月18日～3月15日

ア) 北海道

i. 開催案内 (表面)

福島県から北海道へ自主避難されている皆さまへ

復興庁「平成26年度 県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会・交流会のご案内

福島第一原子力発電所事故の影響により、福島県から北海道へ自主避難されている皆さまを対象に、下記内容の支援情報説明会・交流会を開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時 2015年2月28日(土) 13:30～16:30

場所 北農健保会館 3階 芭蕉(313号室)
札幌市中央区北4条西7丁目

参加費 自己負担なし

交通費 札幌駅までの公共交通運賃(最安)を補助します。

■内容

第1部 講演会 テーマ「心が元気になるために」

講師：日本医科大学特任教授 海原 純子 氏

講師プロフィール



うみはら じゆんこ
海原 純子 氏
日本医科大学特任教授

東京慈恵会医科大学卒。心療内科医、医学博士。ハーバード大学客員研究員を経て現職。日本ストレス学会評議員、日本ポジティブサイコロジー医学会理事。女性のストレス性疾患のサポートには定評があり、読売新聞人生案内回答者として連載執筆中。
また、震災後は、避難所となった埼玉アリーナで呼吸法やボディーワークをもとにしたリラクゼーションの実施や避難所でのボランティア活動を行う。2013年10月から2014年3月まで復興庁心の健康サポートセミナー事業の統括責任者として被災地で講演及び講習会を行う。近著に「困難な時代の心のサブリ」(毎日新聞社)などがある。

第2部 ディスカッション「北海道での暮らしを考える」

～避難されてきた方と支援者で話し合う、北海道の暮らしに「あったらいいな」。～
ファシリテーター：

NPO法人ファシリテーターフェローズ 理事・事務局長 篠原 辰二 氏

復興庁「平成26年度 県外自主避難者等への情報支援事業」

■実施主体/復興庁 ■事業管理者/株式会社三菱総合研究所 ■受託事業者/特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター

【問合せ先】 特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター
TEL 011-299-6940 FAX 011-299-6941
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

(裏面)

北農健保会館 3階 芭蕉(313号室)

札幌市中央区北4条西7丁目1番4

TEL: 011-261-3270

【アクセス】

- ・JR札幌駅 徒歩5分
- ・地下鉄さっぽろ駅6番出口 徒歩5分
- ・道央高速札幌北インターより約15分

※お車で越しの方は近隣有料駐車場をご利用ください。



■交通費 札幌駅までの公共交通運賃(最安)を補助します。当日は交通費受領のための印鑑をお持ちください。まずは、お問い合わせください。

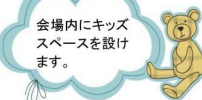
■申込方法 FAX、E-mailにて、下記についてお知らせください。

- ・参加者の氏名・住所・電話番号・E-mail アドレス

※ E-mailでのお申込みの際は、件名に「2月28日支援情報説明会申込み」とお書きください。

- ・託児ご希望の方は、お子様の年齢

■申込み締切 2月25日(水) 17時まで



参加申込書

ファックス送信先 北海道NPOサポートセンター FAX 011-299-6941

参加者氏名	*いずれかに○印をお願いします。
	託児 有 ・ 無
	*託児「有」の方はお子様の年齢をお知らせください。
	____ 歳 ____ 歳 ____ 歳
○連絡先	
TEL _____	携帯 _____
住所 _____	
E-mail アドレス(PC) _____	
E-mail アドレス(携帯) _____	

※いただいた個人情報は、本事業に関するお知らせのみに使用いたします。

ii. 次第

復興庁「平成26年度 県外自主避難者等への情報支援事業」
支援情報説明会・交流会

日時：2015年2月28日（土）13:30～16:30
場所：北農健保会館 3階 芭蕉（313号室）
（札幌市中央区北4条西7丁目）

次 第

開 会（13:30）

第1部 講演会（13:40～）

テーマ：「心が元気になるために」

講 師：日本医科大学特任教授 海原 純子 氏

—— 休憩 ——（14:40～）

第2部 ディスカッション（交流会を兼ねて）（14:50～）

テーマ：「北海道での暮らしを考える」

～避難されてきた方と支援者で話し合う、北海道の暮らしに「あったらいいな。」～

ファシリテーター：NPO法人ファシリテーターフェローズ
理事・事務局長 篠原 辰二 氏

閉 会（16:30）

イ) 東京都

i. 開催案内（表面）

福島県から東京都へ自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会・交流会のご案内

福島第一原子力発電所事故の影響により、福島県から東京都へ自主避難されている皆さまを対象に、支援情報に関する説明会と、避難されている方々のつながりの場として交流会を開催いたします。お問い合わせの上、ぜひお気軽にご参加ください。

■ 日 時 平成27年2月25日（水）13:45～16:45
（13:30 開場）

■ 会 場 新宿三丁目貸会議室 ルーム401A
新宿区新宿3-32-10 T&Tビル 4F

交通費補助あり！
※定額（印鑑をご持参下さい。
詳細はお問い合わせ下さい。）

■ 内 容 13:45 開 会
13:50～14:05 東京都「東京都における避難者支援の取組について」
14:05～14:20 復興庁「子ども被災者支援法関連施策について」
14:20～14:30 質疑応答
（休憩 10分）
14:40～15:40 有識者による講演「心が元気になるために」
講 師：日本医科大学特任教授 / 海原 純子 氏
（休憩 10分）
15:50～16:45 交流会（お茶とお菓子をご用意しています）
16:45 閉 会

■ お申込み・お問合せ先
電話、メールまたはファックスにて、下記までご連絡ください。裏面参照
特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター
電 話 03-6438-2852（平日10:00～17:00）
F A X 03-6438-2851 E-mail info@medical-bank.org

■ 申込締切 平成27年2月23日（月）

■ 当日は託児スペースを設けますので、ご希望の方はお申込の際に事前予約ください。

無料託児つき！
お子様とお気軽にご参加ください！！



うみ はら じゅんこ
海原 純子
日本医科大学 特任教授

■ 講師のプロフィール

東京慈恵会医科大学卒。心療内科医。医学博士。ハーバード大学客員研究員を経て現職。日本ストレス学会評議員、日本ポジティブサイコロジイ学会理事。女性のストレス性疾患のサポートには定評があり、読売新聞人生業内回答者として連載執筆中。また、震災後は、避難所となった埼玉アリーナで呼吸法やボディーワークをもとにしたリラクストレーニングの実施や避難所でのボランティア活動を行う。2013年10月から2014年3月まで復興庁心の健康サポートセミナー事業の統括責任者として被災地で講演及び講習会を行う。近著に「困難な時代の心のサプリ」（毎日新聞社）などがある。

(裏面)

会場案内

新宿三丁目貸会議室 ルーム401A (新宿区新宿3-32-10 T&Tビル4F)



<<アクセス>>

- 都営新宿線、東京メトロ副都心線、丸の内線「新宿三丁目駅」(A1・E9) 徒歩1分
- JR「新宿駅」東南口・中央東口 徒歩3分

※T&Tビルの正面入り口横にはインテリアショップ (BoConcept) があります。



参加申込書

電話、メールでお申込みの際は、以下の事項をお知らせください。
FAXの場合は以下の事項をご記入の上お送りください。

申込締切 平成27年
2月23日(月)迄

FAX : 03-6438-2851 TEL : 03-6438-2852

E-mail info@medical-bank.org

参加者のお名前	年齢	出身元市町村	参加者のお名前	年齢	出身元市町村
①			④		
②			⑤		
③			⑥		

■ お申込者連絡先

TEL _____ 携帯電話 _____

託児スペース申込み

要 ・ 不要

住所 _____

※いただいた個人情報は、本事業に関するお知らせのみに使用いたします。

ii. 同封したチラシ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」 支援情報説明会・交流会

平成27年2月25日(水)13:45~16:45
会場/新宿三丁目貸会議室ルーム401A
JR新宿駅より徒歩3分

※詳しいプログラムおよび会場地図は別紙チラシをご参照ください。

交流会では東京限定の銘菓や楽しいコーナーもご用意しています。
託児も承りますので、ぜひお気軽にお越しください。

※託児はご予約が必要ですので、別紙チラシを参照ください。

お菓子とお漬物で お茶タイム

ごひいきの芸能人も多い東京銘菓や、
なつかしい福島のお漬物を囲んで
くつろいだ時間をお過ごしください。
(※写真はイメージです。内容が変更になる場合
がありますのでご了承下さい。)



プレゼント

医療ネットワーク支援センターの
活動に賛同いただいている企業様
よりご協力いただいた商品
をお土産としてプレゼント
いたします。
(※1世帯に1つ
となります)



特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター TEL.03-6438-2852
(復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」受託事業者)



iii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業
第3回 支援情報説明会・交流会

日時：2015年2月25日(水) 13:45~16:45
場所：新宿三丁目貸会議室 ルーム401A
(新宿区新宿3-32-10 T&Tビル4F)

次 第

開 会 (13:45)

挨拶 復興副大臣 浜田 昌良 氏

出席者紹介

1. 「東京都における避難者支援の取組について」(13:50~14:05)
東京都 総務局 復興支援対策部 都内避難者支援課長 佐藤 栄 氏

2. 「子ども被災者支援法関連施策について」(14:05~14:20)
復興庁 参事官 佐藤 紀明 氏

質疑応答 (14:20~14:30)

休 憩 (14:30~14:40)

3. 「心が元気になるために」(14:40~15:40)
日本医科大学特任教授 海原 純子 氏

休 憩 (15:40~15:50)

4. 交 流 会 「都内各地の避難者同士の交流」(15:50~16:45)

閉 会 (16:45)

以上

ウ) 京都府

i. 開催案内

福島県から京都府に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

なんでも・よろず相談会のご案内

京都府避難者支援プラットフォームが開催する「東日本⇄京都 交流・相談会」の中に、気軽に相談できるコーナー「カフェ・ぶらっと」が設けられます。NPO 法人和は、「なんでも・よろず相談員」として参加します。皆さまどうぞお誘いあわせの上、ぜひお越しください。

日 時 平成 27 年 3 月 15 日 (日) 13:00~15:00

場 所 もんぽう
間法会館 3F 研修室 1・2
京都市下京区堀川通花屋町上ル 西本願寺北

内 容

- ・避難生活に関すること、今後のこと、どんなことでも気軽に相談できます。
- ・内容に応じ、できるだけその場で専門の担当者におつなぎします。
- ・個室での相談にも対応します。

会 場 場 所 もんぽう
間法会館 3F
京都市下京区堀川通花屋町上ル 西本願寺北



【アクセス】
車の場合：西本願寺北境内駐車場（無料）をご利用ください。
市バスご利用の場合：JR京都駅から9、28、75号系統「西本願寺前」下車、進行方向(北)に徒歩5分
徒歩の場合：JR京都駅より徒歩約20分

※京都府避難者支援プラットフォーム主催「東日本⇄京都 交流・相談会」のプログラムの一部です。(詳細は別紙)

10:30~12:00
・福島県庁、宮城県庁担当者とのお話し会
・ふるさとよろず相談、就業支援相談、健康・医療相談、こころの相談 など

13:00~16:00
(多目的ホール)
・うたごえステージ、ピアノ発表
・親子お菓子作り教室 など

(研修室1・2)
・「カフェ・ぶらっと」(相談・交流)

16:00 閉会

お問 合 せ 特定非営利活動法人 和 (なごみ)

電話 075-353-5181 (10時~16時)

FAX 075-353-5185 メール info@fucco-nagomi.com

エ) 大阪府
i. 開催案内

福島県から大阪府に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

特設相談ブースのご案内

東日本大震災から今年で4年の歳月が経ちます。この度、大阪府立大学ボランティアセンターが中心となって開催されるイベント「3.11 さかい灯りの花広場」に、NPO法人み・らいずが相談ブースを設置いたします。よろず相談でも結構です。お気軽にお立ち寄りください。

日時 2015年3月11日(水)
13:00~17:00

場所 堺市役所市民広場(堺市堺区南瓦町3-1)



【アクセス】
南海電鉄高野線「堺東駅」下車、西出口からバスロータリーの方向に約200m、徒歩3分

お申込みは不要です。
お気軽にご参加ください。



担当：東 多恵子
(臨床心理士)



み・らいず

●お問合せ先
NPO 法人み・らいず
TEL : 06-6685-6699
FAX : 06-6683-5532
E-mail : anshin_osaka@me-rise.com

NPO 法人み・らいず ホームページ / 県外自主避難者等への情報支援事業
www.me-rise.com/business/case6/anshin_osaka.html

岡山県
i. 開催案内(表面)

福島県から岡山県に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会・交流会のご案内

現在福島県から岡山県に自主避難されている方を対象に、支援情報の説明会・交流会を開催します。皆さまが感じていらっしゃる不安や疑問の解消に、少しでもお役にたてるような機会にしたいと考えております。どうぞお気軽にご参加ください。

日時 平成27年3月4日(水) 10:15~13:20
場所 きびじアリーナ(総社市スポーツセンター) 会議室1・2
岡山県総社市三輪1300番地

内容 10:00~ 開場
10:15~ 開会
1.岡山県からの説明
岡山県男女共同参画推進センター(ウィズセンター)より
ウィズセンターの活動紹介
2.復興庁からの説明
「子ども被災者支援法関連施策について」
3.有識者による講演
「心が元気になるために」
講師:日本医科大学特任教授 海原 純子 氏
12:30~ 昼食をとりながら交流会
13:20 閉会
13:30~ 交流ワークショップ
15:00 身体を使ったゲーム的要素のあるワークショップ。お互いのぬくもりや重さを感じながら、相手の気持ちを読み、自分の意志をしっかりと伝える方法を探ります
講師:勝部ちこ・鹿島聖子 (※動きやすい格好でお越しください)

心とからだを
のびのび体感できる
交流ワークショップ
も開催します!

託児あります
託児をご希望の方は
お時間に余裕を持って
お越しください

総社駅までの
公共交通機関を
補助します!
まずはお問合せください!
交通費後のための
お昼をお持ちください。
※総社駅から会場までは
無料送迎バスを運行します。

お昼ごはんを食べながら、
お話しませんか?
お弁当(希望者無料)
を準備して
お待ちしております

○有識者 講師プロフィール



海原 純子 (うみはら じゅんこ)・日本医科大学特任教授

プロフィール/東京慈恵会医科大学卒。心療内科医、医学博士。ハーバード大学客員研究員を経て現職。日本ストレス学会評議員。日本ポジティブサイコロジー学会理事。女性のストレス性疾患のサポートには定評があり、読売新聞人生家内回答者として連載執筆中。また、震災後は、避難所となった埼玉アリーナで呼吸法やボディーワークをもとにしたリラクゼーションの実施や避難所でのボランティア活動を行う。2013年10月から2014年3月まで復興庁心の健康サポートセミナー事業の統括責任者として被災地で講演及び講習会を行う。近著に「困難な時代の心のサブリ」(毎日新聞社)などがある。

参加ご希望の方は、電話かFax、メールにてお申込みください。詳細は裏面をご覧ください。

(裏面)

支援情報説明会・交流会

○アクセスマップ

○アクセス きびじアリーナ(総社市スポーツセンター)
JR信濃線、吉備線総社駅より約2km、徒歩20分

○送迎バス
総社駅からきびじアリーナへの送迎バス(無料)をご用意します。送迎バスを利用される方は9時55分に総社駅東口のロータリー前にご集合ください。スタッフが現地でご案内します。お帰りの際も会場から総社駅までお送りします。

9時55分
総社駅東口集合

○駐車場 駐車場あり(無料)

参加費 無 料

申込方法 電話、E-mail、Faxにてお申込みください。(締切:3月2日(月)まで)

○電 話：**070-5670-5676** (電話受付時間:火曜～金曜、10:00～16:00)
氏名、連絡先、説明会・交流会・ワークショップの参加希望、昼食の要不要、託児、送迎バスのご希望をお伝えください。

○E-mail：**hotokayama@gmail.com**
件名「3月4日説明会申込み」とご記入のうえ、氏名、連絡先、説明会・交流会・ワークショップの参加希望、昼食の要不要、託児、送迎バスのご希望を明記し送信ください。

○Fax：下記にご記入のうえ、送信ください。

お問合せ 受託事業者 特定非営利活動法人 岡山NPOセンター
協 力 oughいれネットワーク ほっと岡山
電 話：070-5670-5676(受付時間:火曜～金曜 10時～16時)
E-mail：hotokayama@gmail.com

参加申込書 Fax 086-224-0997 特定非営利活動法人 岡山 NPO センター 行
締 切:3月2日(月)まで

氏 名	(ふりがな)		
連絡先	Tel		Fax
	E-mail		
説明会・交流会	参加する ・ 参加しない	ワークショップ	参加する ・ 参加しない
昼 食	希望する (人前) ・ 希望しない	託 児	希望する ・ 希望しない
送迎バス	希望する ・ 希望しない		人数(名) 年齢(歳 カ月、 歳 カ月、 歳 カ月)

今後知りたい情報等がございましたら、自由にご記入ください。

※いただいた個人情報は、本事業に関するお知らせのみに使用いたします。

ii. 次第

**県外自主避難者等への情報支援事業
第3回支援情報説明会・交流会**

日時：2015年3月4日(水) 10:15～13:20
場所：きびじアリーナ(総社市スポーツセンター)
会議室1・2(岡山県総社市三輪1300番地)

次 第

開 会 (10:15)

出席者紹介 (10:15～10:20)

1. 「ウィズセンターの活動紹介」(10:20～10:40)
岡山県男女共同参画推進センター(ウィズセンター)
所長 福岡 典子 氏
2. 「子ども被災者支援法関連施策について」(10:40～11:00)
復興庁 参事官 佐藤 紀明 氏

(休憩 11:00～11:10)

3. 「心が元気になるために」(11:10～12:10)
日本医科大学特任教授 海原 純子 氏
4. 質疑 (12:10～12:20)

(休憩 12:20～12:30)

5. 交流会 「県内各地の避難者同士の交流」(12:30～13:20)

閉 会 (13:20)

※自主企画：交流ワークショップ(13:30～15:00)
身体を使ったゲーム的要素のあるワークショップ。お互いのぬくもりや重さを感じながら、相手の気持ちを汲み、自分の意思をしっかりと伝える方法を探ります。
以上

オ) 岡山県

i. 開催案内 (表面)

福島県から福岡県に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

支援情報説明会・交流会

のご案内

■ 日時 平成27年2月18日(水)10:30~13:30

■ 会場 サンライフホテル3号館 3300号室
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-3
※博多駅までの公共交通運賃(最安)を補助します。

裏面参照

■ 内容

10:15	開場
10:30	開会、出席者紹介
10:35	福島県からの情報提供 「福島県における住宅支援の取組について」
10:55	有識者による講演 「心が元気になるために」 講師: 日本医科大学特任教授 海原 純子 氏
11:55	休憩
12:15	交流会「県内各地の避難者同士の交流」
13:30	閉会

● 昼食(無料)を準備します。

有識者のプロフィール



うみはら じゅんこ
海原 純子
日本医科大学特任教授

プロフィール/東京慈恵会医科大学卒。心療内科医。医学博士。ハーバード大学客員研究員を経て現職。日本ストレス学会評議員。日本ボジティブサイコロジー医学会理事。女性のストレス性疾患のサポートには定評があり、読売新聞人生案内回客者として連載執筆中。また、震災後は、避難所となった埼玉アリーナで呼吸法やボディーワークをもとにしたリラクゼーションの実施や避難所でのボランティア活動を行う。2013年10月から2014年3月まで復興庁の健康サポートセミナー事業の統括責任者として被災地で講演及び講習会を行う。近著に「困難な時代の心のサブリ」(毎日新聞社)などがある。

【お問合せ】

一般社団法人市民ネット
〒812-0053
福岡市東区箱崎1丁目20-1

TEL 092-409-3891
FAX 092-409-3892
MAIL support@snet-fukuoka.org
または info@snet-fukuoka.org
(受付時間帯 10:00~16:00)

(裏面)

■ 会場案内

サンライフホテル3号館 3300号室

【住所】
〒812-0013
福岡市博多区
博多駅東1-12-3

【アクセス】
博多駅筑紫口正面
地下鉄博多駅
東6番出入口直結



博多駅までの公共交通運賃(最安)を補助します!

※当日は交通費受領のための印鑑をお持ちください。まずは、お問合せください。

■ 参加申込書

一般社団法人市民ネット 行

FAX 092-409-3892

皆さまの昼食をご準備させていただきます。恐れ入りますが必要事項を記入の上FAXにてお送りください。

お名前 (代表者名)	(ふりがな)	合計参加人数	名
現住所			
ご連絡先	電話	メール	
説明会		参加する	・ 参加しない
交流会		参加する	・ 参加しない
託児希望 (無料です)	希望する・希望しない	託児ご希望の方: ご人数	名
		ご年齢	歳、 歳、 歳
ご要望			

※いただいた個人情報は、本事業に関するお知らせのみに使用いたします。

ii. 次第

県外自主避難者等への情報支援事業
第3回支援情報説明会・交流会

日時：2015年2月18日（水）10：30～13：30
場所：サンライフホテル3号館 3300号室
（福岡市博多区博多駅東1-12-3）

次 第

開 会（10：30）

出席者紹介（10：30～10：35）

1. 「福島県における住宅支援の取組について」（10：35～10：55）

福島県土木建築指導課 主事 蓮沼 尚 氏
福島県生活環境部避難者支援課 主査 高野 真人 氏
// 主査 山崎 薫 氏

2. 「心が元気になるために」（10：55～11：55）

日本医科大学特任教授 海原 純子 氏

休 憩（11：55～12：15）

3. 交流会 「県内各地の避難者同士の交流」（12：15～13：30）

閉 会（13：30）

以上

(裏面)

岡山県内では下記団体が皆さまへの
情報提供、相談支援、説明会・交流会開催を行います。

特定非営利活動法人
岡山 NPO センター



うけいれネットワーク
ほっと岡山

1998年のNPO法成立時から、市民活動・社会事業を取り巻く環境の整備と政策提言、経営支援に取り組む民間組織「NPOを支援するNPO」です。県内で子育て、環境、高齢者、まちづくり…など様々な社会課題解決に取り組むNPOや市民団体の支援に取り組んでいます。

以下の3事業部で市民による様々な活動の支援を展開しています。

- ◆NPO事務支援センター：NPO法人やボランティア団体、まちづくり団体、町内会、学童保育、社団・財団法人など、非営利組織の事務を支援します。
- ◆地域連携センター：市民と行政、そして企業をつなぎ、岡山県内のよりよい住民自治と地域課題解決を支援します。
- ◆岡山県ボランティア・NPO活動支援センター(ゆうあいセンター)：岡山県設置の施設です。(岡山県社会福祉協議会と共同で指定管理)「ボランティアへの参加」や「NPO法人の設立」など様々な相談に対応している他、施設・設備の貸出により市民活動を支援します。

今回、うけいれネットワーク ほっと岡山さんと共に、様々なテーマのNPOをつなぐことで、多様な情報提供などをさせていただきます。

避難者相談窓口

「住宅支援はいつまで?」「仕事の相談がしたい」「相談先がわからない」「要望がある」など、ワンストップにて対応します。来所、電話(火曜~金曜、10時~16時)、メールにて対応。相談員は構成団体がローテーションで対応します。お気軽にご連絡ください。

情報発信

HPや紙媒体等にて、主に避難者支援情報を発信しています。

説明会・交流会の開催

避難者支援情報の説明会、交流会、勉強会、生活相談会、広域避難者支援シンポジウムなどの開催や協力をしています。

連携の支え

組織の基盤強化のためのセミナーや勉強会の開催、常設の事務局を設置しています。

政策提言

避難者のみなさんの声を届ける役割を担います。

他ネットワーク等との連携

避難元自治体、受入自治体、また多様な支援団体・ネットワークとの情報共有、調査協力をしています。

支援の窓口

支援のお申し出の窓口としてマッチングやコーディネートを行います。

ネットワーク参加団体

おいでんせえ岡山/子ども未来・愛ネットワーク/よりはくプロジェクト/さよなら原発ママ/バリエーションネットワーク/ネットワーク寺子屋/せとうち交流プロジェクト/YMCA せとうち/やすらぎの泉/転入移住支援センターいまここ/おかげデザイン

・個人情報保護方針について

特定非営利活動法人岡山NPOセンター(以下、当センター)は、個人情報等を適切に管理することは社会的な責務であるとの認識のもと、本事業に関する個人情報保護の方針を次のとおり定め、役員、従業員、及び関係スタッフに周知徹底を図り、個人情報の保護に努めます。

・個人情報保護方針

1. 個人情報の管理

当センターは、個人情報保護、管理する体制を確立し、個人情報の適正な取得、利用および提供に関する規程を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の取得および利用

当センターは、個人情報を取得および利用する場合には、利用目的を明確

にし、特定された利用目的の達成に必要な範囲内で、適正に個人情報を取扱います。また、目的外利用を行わないための措置を講じます。

3. 個人情報の提供

当センターは、個人情報について、あらかじめご本人から同意をいただいた提供先以外の第三者に提供、開示等は一切いたしません。

4. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性、正確性の確保を図ります。また、万が一、問題が発生した場合には、被害の拡大防止に努め、速やかに是正措置を実施します。

く) 福岡県 (表面) ※第3回ニュースレターで送付

福島県から福岡県に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

相談窓口のご案内

自主避難者の方々で以下のようなお悩みをお持ちの方は、お気軽にお電話ください。

- 避難者同士の交流会やイベントに参加したい・・・
- どこに相談すればいいのかわからない・・・
- 福岡県での暮らしについてわからないことが・・・

その他、些細な相談でも大丈夫です。
必要に応じて他の相談機関等へお繋ぎいたします

「常設ママズカフェ」
の開設(12月1日予定)
に伴い、事務所を移転
します!

- 名称：一般社団法人 市民ネット
- 場所：福岡市東区箱崎1丁目20-1 「常設ママズカフェ」
- 電話：092-409-3891 (平日午前10時から午後4時まで) ※年末年始を除く
- メール：support@snet-fukuoka.org または info@snet-fukuoka.org
- 来所相談：「常設ママズカフェ」へお気軽にお越しください。

※常設ママズカフェは、避難生活に関する悩み相談や避難者同士の交流などを目的とした交流の場です。どうぞ気兼ねなくお越しください。当店は平日のみですが、今後、準備が出来次第、土・日も運営する予定です。

■常設ママズカフェ案内図



■アクセス
JR 箱崎駅を降りて妙見通りを総合庁舎の方向へ。総合庁舎の一步手前の路地を右に、さらに一つ目の細い路地を左に進むと突き当たりの右手前に古い平屋がございます。そこが常設ママズカフェです

■ご利用時間
平日 10時~17時(年末年始を除く)

3) 相談窓口のご案内 (第3回、第4回ニュースレターで送付したもの)

ア) 北海道 (表面)

復興庁「平成26年度 県外自主避難者等への情報支援事業」

**避難者相談
ホットライン**

東日本大震災 および 福島第一原発事故により
福島県から避難し、現在、北海道に暮らしているみなさまへ
まずはおさがるに、お便り・ご相談ください。

メールはこちら
soudanf@npo-hokkaido.org

電話はこちら 電話受付時間 10:00~17:00

避難者相談窓口 (札幌市中央区南8条西2丁目市民活動プラザ星園 201)
011-211-0773 (火・金) FAX 可

北海道NPOサポートセンター事務局
011-299-6940 (月~金)

実施主体:復興庁 事業管理者:株式会社三菱総合研究所
受託事業者:NPO法人 北海道NPOサポートセンター 実施期間:2014年6月~2015年3月(年末年始を除く)

参考3-1

(裏面)

北海道

特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター

東日本大震災被災者支援関連事業実績

- 2011年3月23日北海道NPOサポートセンターグループにより任意団体「北海道NPO被災者支援ネット」を設立し、東日本大震災被災者支援活動を開始。
 - 札幌市東日本大震災被災者支援事業受託 (2011~2014年度)
 - ボランティア研修講座3回開催(2011年度) ②被災避難者実態訪問インタビュー調査(2011年度)
 - ③電話等相談対応 ④札幌に避難されている方に「ほっとニュース(ココソポだより)」を郵送配布 他
 - 道内市町村・社会福祉協議会等被災者受入実態調査実施 (2011年度 自主事業)
 - 北海道新聞社会福祉振興基金助成事業
ミニフォーラム・フォーラム開催 (2012年度 釧路、函館、旭川、札幌)
 - ホームページ・Facebook・ブログ等による情報発信
- 北海道緊急雇用事業「避難者受入支援事業」(2012年度)
コンソーシアム北海道避難者アシスト協議会で受託(代表団体:ようこそあったかい道実行委員会、構成団体:みちのく会、北海道被災者受入支援ネットワーク、北海道NPOサポートセンター、北海道ふるさと回帰支援センター、事務局団体:北海道NPO被災者支援ネット)
 - 避難者一時受入支援事業と母子避難の家族再会事業、一時帰郷支援企業共同モデル事業
夏休みや冬休み期間などにおける被災地の子供たちなどの北海道への一時的な避難について、民間団体などが実施する受入支援の取り組みに対しての旅費補助支援。
 - 被災地ニーズ把握 被災地訪問
 - 各種アンケート調査
①道内避難者実態調査 ②市町村を対象とした調査 ③支援団体を対象とした調査 ④上川総合振興局圏域モデル聴取調査
 - 北海道発見・雇用促進支援モデル就業促進研修
- 福島県新しい公共支援事業 (2012年度)
北海道協働型福島県避難者支援協議会で受託(代表団体:みちのく会 構成団体:福島県北海道事務所、北海道、ようこそあったかい道実行委員会、北海道NPOサポートセンター、事務局団体:北海道NPO被災者支援ネット)
 - 避難者間及び郷土との絆を深める
①生活支援ニュース「けやき(郷土情報)」の作成・発行及び、福島県からのお知らせ等、②札幌市内の避難者と地域避難者との相互交流、③NPO(支援団体)・関係市町村との絆づくりフォーラムの開催、④お茶会の開催
 - 郷土のニーズ把握や支援関係者の意向調査と道内避難者による自立活動の支援
①郷土の現状ニーズ調査、②道内避難者の暮らしや、支援に対する意向調査(個別・集団)
 - 避難者自立運営組織の強化
- 復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」(2013年~2014年度)
受託事業者として実施。

北海道NPOサポートセンターの組織

■団体会員 214団体 個人会員 120名
■事務局スタッフ 5名

※N)はNPO法人

●理事長 杉山さかゑ N)NPO推進北海道会議理事	●理事 三原孝義 N)北海道NPOバンク理事/農業生産法人株式会社ふるさとファーム代表取締役	●監事 森田裕子 N)旭川NPOサポートセンター理事・事務局長	N) Bonos代表理事
五十嵐幹雄 不動産コンサルタント	加藤知美 メディア・アンビシャス世話人	北村美恵子 N)北海道NPOバンク理事・事務局長/N)日本NPOセンター理事	N)NPOサポートはこだて理事・事務局長/N)函館市青年サークル協議会理事長
佐藤隆 N)NPO推進北海道会議理事・事務局長/N)北海道ふるさと回帰支援センター理事長	高木晴光 N)ねお理事長/NPOバンク事業組合理事長	山口晃 N)北海道NPOファンド代表理事/N)NPO推進北海道会議代表理事	N)北海道NPOバンク理事/農業生産法人株式会社ふるさとファーム代表取締役
谷井貞夫 N)北見NPOサポートセンター理事長	畑 恵一 N)北海道NPOサポートセンタースタッフ	日置真世 N)地域生活支援ネットワークサロン理事・事務局顧問/北海道から地域づくりを創造・発信する場づくり師	N)旭川NPOサポートセンター理事・事務局長
			N)北海道ワークス・ユレテグ 連絡協議会代表理事

【個人情報取り扱いについて】
当法人では、個人の人格尊重の理念のもとに、関係法令を遵守し、実施するあらゆる事業において知り得たさまざまな個人情報を慎重に取り扱う個人情報保護、適切な管理体制を講じています。

特定非営利活動法人 北海道 NPO サポートセンター
札幌市東区北6条東3丁目3-1 LC北六条館6F
TEL 011-299-6940 FAX 011-299-6941
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp
URL http://npo-hokkaido.org/
月~金 10時~18時

イ) 山形県 (表面)

福島県から山形県に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

こまったときは 気軽に 電話してみよう!

相談窓口のご案内

—山形連セン自主避難者専用相談窓口—



山形連センでは避難者皆様のお悩みやお困り事が少しでも和らぐことを願い、専門の相談員を配置してお電話をお待ちしております。どうぞお気軽にお電話下さい。

★避難/こころの悩みごと相談ダイヤル 「CocoroNAVI」
023-665-4493

★避難/くらしの困りごと相談ダイヤル 「KurashiNAVI」
023-665-4494

- 受付 月～金 9:00～17:00 ※年末年始を除く。
- 受付時間に合わない方は下記までメールでご連絡下さい。
soudan@yamagatarensen.net

尚、当センターへ直接来場されてのご相談も受け付けております。駐車場のご案内がありますので、お電話でご連絡の上、お越し下さいますようお願い申し上げます。



窓口はコチラ

相談窓口のある山形県被災者連携支援センター(山形連セン)は、霞城公園の西側のお道に面した建物の中にあります。

- ・山形駅から、徒歩で15分
- ・山形市男女共同参画センターファームから 徒歩で6分


※駐車スペースは、お電話をいただいた際にご案内いたします。

一般社団法人 山形県被災者連携支援センター
山形県山形市城西町1-7-19山形県NPO支援センター2Fやまがた絆の架け橋ネットワーク内
TEL 023-665-4792 FAX 023-665-4793 E-mail : info@yamagatarensen.net

参考3-2

(裏面)

山形県内では下記団体が皆様への情報提供・相談支援を行います。



Yamagata Victim Cooperation Support Center
一般社団法人 山形県被災者連携支援センター

- ▶ 名称 : 一般社団法人 山形県被災者連携支援センター
- ▶ 本部所在地 : 〒990-0832 山形県山形市城西町1-7-19
山形県NPO支援センター2F やまがた絆の架け橋ネットワーク内
- ▶ 電話 : 023-665-4792 (受付 月～金 9:00～17:00 ※年末年始を除く。)
- ▶ 設立 : 2013年(平成25年)9月 ▶ 代表理事 : 大谷 哲範
- ▶ ホームページ : <http://yamagatarensen.heavy.jp/>
(※内閣府NPOホームページ (<https://www.npo-homepage.go.jp/>) から、団体の定款と事業報告書をご確認頂けます。)

【東日本大震災発生より山形連セン設立までの経緯】

- ・2011年度より山形県内を拠点に震災関係の様々な支援活動を展開していた団体が連携し、「やまがた絆の架け橋ネットワーク」を設立。(2012年)
- ・やまがた絆の架け橋ネットワークは、避難者支援、被災地の人達向けの保健企画運営、移動支援、人材育成などの事業を行ってまいりました。
- ・山形県被災者連携支援センターは、「やまがた絆の架け橋ネットワーク」の中心的なメンバーによって構成され、避難者への総合的な支援、及び山形県内の支援団体シーズの連携促進を目的に2013年度に設立されました。

・個人情報保護方針について
一般社団法人山形県被災者連携支援センター(以下、当法人といいます)は、個人情報を適切に管理することは社会的な義務であるとの認識のもと、本事業に関する個人情報保護の方針を次のとおり定め、役員、従業員及び関係スタッフに周知徹底を図り、個人情報の保護に努めます。

・個人情報保護方針

1. 個人情報の管理
当法人は、個人情報を保護、管理する体制を確立し、個人情報の適正な取得、利用および提供に関する規程を定め、これを遵守します。
2. 個人情報の取得および利用
当法人は、個人情報を取得および利用する場合には、利用目的を明確にし、特定された利用目的の達成に必要な範囲内で、適正に個人情報を 取扱います。また、目的外利用を行わないための措置を講じます。
3. 個人情報の提供
当法人は、個人情報について、あらかじめご本人から同意をいただいた提供先以外の第三者に提供、開示等は一切いたしません。
4. 個人情報の安全対策
個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性、 正確性の確保を図ります。また、万が一、問題が発生した場合には、被害の拡大防止に努め、速やかに是正措置を実施します。

ウ) 東京都

東京都に避難されている皆様へ

東京都内では下記NPO法人が情報提供・相談支援を行います。

医療ネットワーク支援センターのご紹介

- 【団体名】 厚生労働省認定個人情報保護団体
特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター
- 【活動拠点】 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-12-1-302
- 【ホームページ】 <http://www.medical-bank.org/>
- 【フェースブック】 <https://www.facebook.com/healthaid2013>
- 【設立】 2002年6月18日
2006年3月厚生労働省より「個人情報の保護に関する法」第37条の
規程により厚生労働省より「認定個人情報保護団体」に認定。
- 【活動目的】 安全で安心な医療、健康を支える医療者と市民とのつながりと信頼の
構築、より良い医療コミュニケーション(ヘルスコミュニケーション)を
目的とし、医療をはじめとした様々な分野の方々と連携し、啓発活動
を行っています。また、2011年の震災発生を機に、県外避難者を対象に
心身の健康づくり、コミュニケーションの支援、情報共有等の支援活動
も行ってあります。
- 【活動紹介】
- 1: 医療と市民による医療安全推進事業
 - 2: 医療介護施設への個人情報保護指導相談事業
 - 3: ヘルスコミュニケーション啓発事業
 - 4: 東日本大震災県外避難者支援活動
 - 県外避難者支援専用ホームページ <http://h-aid.jp>
 - コミュニティイベント “こっちゃ来たらいいべえ”開催
 - 県外避難者と自治体との情報共有会議
 - 健康支援セミナー
 - 支援活動を行うボランティアへの講習会開催
 - 被災自治体における個人情報の取り扱い会議



当団体は県外に避難中の皆さまの支援活動を2011年5月か
ら行っており、交流イベント「こっちゃ来たらいいべえ」で
お会いした方もいらっしゃるかもしれませんが。
相談電話は下記の時間受け付けていますので、何か気にな
る事がありましたらお気軽にご連絡ください。

相談専用電話 **070-5545-0659**

相談専用メールアドレス soudan@medical-bank.org

* 受付時間：月～金の午前10時～午後5時(年末年始、休祭日を除く)

* 受付期間：2014年6月から2015年3月末まで

【個人情報の取り扱いについて】

皆さまから許可をいただいた原所情報および個人情報等につきまして、本事業の連絡にのみ使用させていただきます。なお、詳細につき
ましては当団体における個人情報保護方針<http://privacy-policy.jp/>に掲載しておりますので、ご参照のほどお願いいたします。

エ) 新潟県 (表面)

新潟県に避難されている皆様へ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」のご案内

このたび復興庁では、原子力災害により福島県から県外へ避難されている方々に対し、
ニュースレターによる情報提供や相談支援などのご支援を行います。新潟県内では、
復興庁より事業委託を受けた(株)三菱総合研究所より、さらに事業の一部の委託を受けた
特定非営利活動法人新潟NPO協会が本事業を行うことになりましたので、ご案内申し上げます。



特定非営利活動法人 新潟 NPO 協会



〒950-0835 新潟市東区猿ヶ馬場 2-2-16
避難者交流施設ふりっぶはうす内



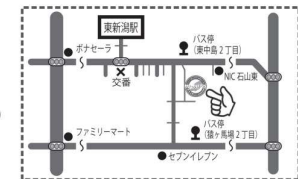
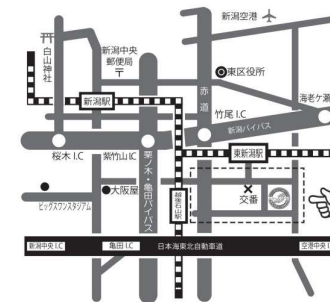
070-6623-2051
(平日 午前 10 時から午後 4 時まで ※年末年始を除く)



niigata.flip@gmail.com



来所相談は事前に電話またはメールで日時をご予約下さい。



JR 白新線 東新潟駅 下車 徒歩 8 分
新潟交通バス 石山「東中島 2 丁目」下車 2 分
新潟交通バス 東明「猿ヶ馬場 2 丁目」下車 4 分
日本海東北自動車道 亀田 IC から車で 1 5 分
新潟バイパス 竹尾 IC から車で 5 分
※ 駐車場 近隣 12 台あります。お問合せ下さい。

(裏面)

新潟県内では下記団体が皆様への情報提供・相談支援を行います。



Niigata Association of Nonprofits

特定非営利活動法人
新潟NPO協会



- ▶ 名称 : 特定非営利活動法人 新潟 NPO 協会
- ▶ 本部所在地: 〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ1F
- ▶ 電話 : 025-280-8750 (平日 午前9時から午後5時まで)
- ▶ 設立 : 2004年(平成15年)5月 ▶ 代表理事: 金子洋二、渡邊信子
- ▶ ホームページ: <http://nan-web.jimdo.com/> (右上のQRコードからもアクセスできます)
※内閣府 NPO ホームページ (<https://www.npo-homepage.go.jp/>) から、団体の定款と事業報告書をご確認頂けます。

【東日本大震災に関連した活動実績】 ※印は新潟市避難者支援協議会として実施。

- ・「東日本大震災新潟市避難者交流施設 ふりっぷはうす」の開設と運営。*
- ・新潟県内で滞在できる住居等の案内を行う「にいがた第2のふるさと」の実施。
- ・「炊き出しプロジェクトにいがたゴハン」を会津地方の避難所等で実施。
- ・福島県浪江町からの避難者を対象とした「新潟市浪江町復興支援員事務所」の運営。
- ・福島県伊達市からの避難者を対象とした「新潟市避難者相談窓口」の設置。*
- ・震災支援の NPO 等支援団体を対象とする「東北関東大震災ボランティア活動基金」の運用。

・個人情報保護方針について
特定非営利活動法人新潟 NPO 協会（以下、当協会とします）は、個人情報を適切に管理することは社会的な責務であるとの認識のもと、本事業に関する個人情報保護の方針を次のとおり定め、役員、従業員及び関係スタッフに周知徹底を図り、個人情報の保護に努めます。

・個人情報保護方針

1. 個人情報の管理
当協会は、個人情報を保護、管理する体制を確立し、個人情報の適正な取得、利用および提供に関する規程を定め、これを遵守します。
2. 個人情報の取得および利用
当協会は、個人情報を取得および利用する場合には、利用目的を明確にし、特定された利用目的の達成に必要な範囲内で、適正に個人情報を取扱います。また、目的外利用を行わないための措置を講じます。
3. 個人情報の提供
当協会は、個人情報について、あらかじめ本人から同意をいただいた提供先以外の第三者に提供、開示等は一切いたしません。
4. 個人情報の安全対策
個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性、正確性の確保を図ります。また、万一、問題が発生した場合には、被害の拡大防止に努め、速やかに是正措置を実施します。

参考3-4

オ) 京都府 (表面)

京都府内に避難されている皆様へ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」のご案内

このたび復興庁では、原子力災害により福島県から県外へ避難されている方々に対し、ニュースレターによる情報提供や相談支援などのご支援を行います。
京都府内では、復興庁より事業委託を受けた(株)三菱総合研究所より、さらに事業の一部の委託を受けた **特定非営利活動法人 和** が本事業を行うことになりました。
これに伴い、相談窓口の充実を図るため、電話番号を新設いたしましたので、ご案内申し上げます。

電話番号: 075-353-5181

(平日 10:00-17:00 携帯 080-4414-8654)

FAX: 075-353-5185

メール: info@fucco-nagomi.com

個別相談承ります。

電話またはメールにて日程調整を行いますので、まずはご連絡ください。

相談の主な連携先

【京都での生活について】

京都府防災原子力安全課・各種生活相談・お住いの市町村等・社会福祉協議会
京都府ジョブパーク・民間支援団体・傾聴僧・臨床心理士・弁護士・税理士・保育士等

【福島県内の情報について】

福島県避難者支援課・福島大学・ふくしま連携復興センター・民間団体等

〒600-8833

京都市下京区七条大宮西入西酢屋町 10

特定非営利活動法人 和

<http://www.fucco-nagomi.com>

Access

- ・京都水交衛エントランスから徒歩5分
- ・京都駅から、京都市内/205番・206番・水交衛シャトルに乗車、七条大宮・京橋水交衛前下車、七条通りを北側に通り、西へ200m。



(裏面)

京都府内では、下記団体が皆様への情報提供・相談支援を行います。

- 名称 : 特定非営利活動法人 和 (なごみ)
- 本部所在地 : 〒600-8833 京都市下京区七条大宮西入西酢屋町 10
- 電話 : 075-353-5181 (事務所) 080-4414-8654 (携帯)
075-354-7135 (キッチン Nagomi)
- 法人設立 : 平成 25 年 9 月 4 日
- 役員 : 理事長 大塚茜 副理事長 辻都代子 理事 鞆明浩
- ホームページ : <http://www.fucco-nagomi.com>

【東日本大震災に関連した活動実績】

(前団体 特定非営利活動法人ハイビスカスより平成 25 年 10 月より事業委譲)

- ・「広域避難者交流サロン 福興サロン和～Nagomi～」開設・運営
- ・宮城県石巻市子育て支援活動
- ・宮城県石巻市渡波地区「認可外保育施設ちるびよ」開設・運営
- ・「お念珠でご縁をつなごうプロジェクト」福興念珠づくり (京都・宮城・福島)
- ・「避難者就労支援事業 キッチン Nagomi」開設・運営
- ・京都府避難者支援プラットフォーム会議参加

・個人情報保護方針について

特定非営利活動法人和 (以下、当法人といいます) は、個人情報を適切に管理することは社会的な責務であるとの認識のもと、本事業に関する個人情報保護の方針を次のとおり定め、役員、従業員及び関係スタッフに周知徹底を図り、個人情報の保護に努めます。

【個人情報保護方針】

1. 個人情報の管理
当法人は、個人情報を保護、管理する体制を確立し、個人情報の適正な取得、利用および提供に関する規程を定め、これを遵守します。
2. 個人情報の取得および利用
当法人は、個人情報を取得および利用する場合には利用目的を明確にし、特定された利用目的の達成に必要な範囲内で、適正に個人情報を取扱います。また、目的外利用を行わないための措置を講じます。
3. 個人情報の提供
当法人は、個人情報について、あらかじめご本人から同意をいただいた提供先以外の第三者に提供、開示等は一切いたしません。
4. 個人情報の安全対策
個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性、正確性の確保を図ります。また、万が一、問題が発生した場合には、被害の拡大防止に努め、速やかに是正措置を実施します。

カ) 大阪府 (表面)

福島県から大阪府へ自主避難されている皆さまへ

復興庁『県外自主避難者等への情報支援事業』

相談窓口のご案内

自主避難者の方々に以下のようなお悩みをお持ちの方は、お気軽にお電話ください。

- 避難者同士の交流会やイベントに参加したい・・・
- どこに相談すればいいのかわからない・・・
- 大阪府での暮らしについてわからないことが・・・

その他些細な相談でも大丈夫です。

必要に応じて他の相談機関等へお繋ぎいたします。

NPO 法人み・らいず 東多恵子



電話相談は NPO 法人み・らいずが受付させていただきます。

名称: 特定非営利活動法人 み・らいず

本部所在地: 〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 4-4-19

電話: TEL: 06-6685-6699 担当: 東(臨床心理士)

平日 10:00~17:00 まで ※年末年始を除く

※担当が不在の際は、留守番電話にお名前と、復興庁の事業でお電話いただいた旨を残していただければ、折り返しお電話させていただきます。

FAX: 06-6683-5532

E-mail: anshin_osaka@me-rise.com

ホームページ: <http://me-rise.com/>

※Facebook でも、み・らいずの活動を紹介させて頂いております。
ぜひご覧ください!

(裏面)

大阪府内では下記団体が皆様への情報提供・相談支援を行います。

名称：特定非営利活動法人 みらいず
本部所在地：〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 4-4-19
電話：06-6685-6699 (担当：東) ※平日 10:00~17:00
設立：2001年4月 代表理事：河内崇典
ホームページ：http://me-rise.com/

■平成 25 年度の主な活動■

障がいのある方へのイベント提供事業・障がいのある方への就労支援事業・障がいのある方の自立体験事業・高齢者の余暇支援事業・不登校児・発達障がい児への塾・家庭教師派遣事業・不登校児への居場所提供事業（大阪市委託事業）・不登校・引きこもり・非行・ニートの青少年の総合相談事業（堺市委託事業）・高校中退フォローアップ事業（大阪府委託事業）

■東日本大震災支援■

県外避難中の子ども相談支援事業・県外へ何社の母子家庭支援・堺市市内避難者支援事業

◆個人情報保護方針について

特定非営利活動法人みらいず（以下、当法人）は、個人情報を適切に管理することは社会的な責務であるとの認識のもと、本事業に関する個人情報保護法の方針を次のとおり定め、役員、従業員及び関係スタッフに周知徹底を図り、個人情報の保護に努めます。

◆個人情報保護方針

1. 個人情報の管理

当法人は、個人情報を保護、管理する体制を確立し、個人情報の適正な取得、利用および提供に関する規程を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の取得および利用

当法人は、個人情報を取得および利用する場合には、利用目的を明確にし、特定された利用目的の達成に必要な範囲内で、適正に個人情報を取り扱います。また、目的外利用を行わないための措置を講じます。

3. 個人情報の提供

当法人は、個人情報について、あらかじめご本人から同意をいただいた提供先以外の第三者に提供、開示等は一切いたしません。

4. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性、正確性の確保を図ります。また、万が一、問題が発生した場合には、被害の拡大防止に努め、速やかに是正措置を実施します。

キ) 岡山県 (表面)

福島県から岡山県に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

相談窓口のご案内

「ほっと岡山」は
どんなところ？

○「ほっと岡山」は、岡山
で東日本大震災被災者支援に携わ
る民間団体のネットワーク組織です。
○岡山県の福祉関連の総合施設「きらめきプ
ラザ」にあります。○託児ルームでお話しする
こともできます。お子さま連れでどうぞ。○相
談員は「ほっと岡山」構成団体でローテーシ
ョンで対応しています。担当日はほっと岡山HP
にてお知らせしています。○秘密は守り
ます。○わからないことなど、ど
うぞお気軽にお問い合わせ
ください。



「どこに相談したらいいのかわからない...」
「岡山での暮らしでわからないことが...」
「避難者交流会に参加したい」
「支援情報が知りたい」

そのほか、お困りごとやお悩み、ささいなご相談など、
どうぞお気軽に「うけいれネットワークほっと岡山」まで
ご連絡ください。必要に応じて専門機関におつなぎします。
お電話・メール・ご来所にて対応しております。

相談窓口

名称 特定非営利活動法人 岡山 NPO センター
場所 岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ2階9号室 (岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館)
うけいれネットワークほっと岡山
電話 070-5670-5676 (火～金曜、午前10時～午後4時 ※年末年始を除く)
メール hotokayama@gmail.com

来所相談は、事前に電話またはメールで日時をご予約ください。
(火～金曜、午前10時～午後4時の間は、いつでもお立ち寄りいただけます。お気軽にお問い合わせください。)



岡山駅からのアクセス

- 徒歩:約15分 ○自動車:来館者用駐車場有
- 路線バス(岡山駅バスターミナルより)

	宇野バス	岡電バス	中鉄バス
乗り場	12	2	12 もしくは 13
行き先	林野 ネオポリス9丁目 山陽団地 ネオポリス東9丁目 町窪田 仁堀	三野(半田山植物園) 砂倉寺(岡大)	全路線
降り口	「番町口」下車、 西へ徒歩約3分	「番町口」下車、 西へ徒歩約3分	「路線橋東」下車、 北へ徒歩約4分

(裏面)

福岡県内では下記団体が皆さまへの情報提供・相談支援を行います。

- 名称 一般社団法人市民ネット (<http://snet-fukuoka.org/>)
- 住所 〒812-0053 福岡市東区箱崎1丁目20-1 常設ママズカフェ
- 電話 092-409-3891 (平日午前10時～午後5時まで)
- 設立 2014年4月(一般社団法人 登記・設立)
- 代表理事 飯田 真一



【団体説明】

2011年4月、前身となる東日本大震災被災者支援ふくおか市民ネットワークを設立。2014年4月に法人化し、現在の名称に変更。震災から数年経った現在も広域避難者の相談窓口業務ならびに避難受け入れ業務を行っています。また、毎月1回避難者同士の交流を目的とした交流親睦会「ママズカフェ」を開催。避難者からの相談に応じて個別に対応を行い、就業、住居、子育て、医療などの分野に分けて支援サービスを展開しています。

【東日本大震災に関連した活動実績】

- ・避難者交流会「Fukuoka mama's Cafe」の運営(毎月1回、定例会開催中)
- ・避難相談窓口開設(居住等アドバイス、就労支援、生活環境情報サービスなど)
- ・福岡県浪江町からの避難者を対象とした情報交換および交流会の運営サポート
- ・福岡県、福岡市など各自治体との連携による生活環境サポート業務
- ・自主避難者を対象とした弁護士無料相談サービス(福岡県弁護士会の協力によります)
- ・震災支援団体間のボランティアニーズ・コーディネーション業務

個人情報保護方針について

一般社団法人市民ネット(以下、「当法人」)は、以下のとおり個人情報保護を定めます。

1. 個人情報の管理

当法人は、安全対策を実施し個人情報の厳重な管理を行います。

2. 個人情報の取得および利用

当法人は個人情報を取得および利用する場合には、利用目的を明確にし、特定された利用目的の達成に必要な範囲内で、適正に個人情報を取り扱います。また、目的外利用を行わないための措置を講じます。

3. 個人情報の提供

当法人は、個人情報について、ご本人から同意をいただいた提供先以外の第三者に提供、開示等は一切いたしません。

4. 個人情報の安全対策

当法人は個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性、正確性の確保を図ります。また、万が一、問題が発生した場合には、被害の拡大防止に努め、速やかには是正措置を実施します。

福岡県(表面) ※第4回ニュースレターで送付。裏面は第3回と共通

福島県から福岡県に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

相談窓口のご案内

自主避難者の方々に以下のようなお悩みをお持ちの方は、お気軽にお電話ください。

- 避難者同士の交流会やイベントに参加したい・・・
- どこに相談すればいいのかわからない・・・
- 福岡県での暮らしについてわからないことが・・・

その他、些細な相談でも大丈夫です。

必要に応じて他の相談機関等へお繋ぎいたします

- 名称: 一般社団法人 市民ネット
- 場所: 福岡市東区箱崎1丁目20-1 「常設ママズカフェ」
- 電話: 092-409-3891 (平日午前10時から午後4時まで) ※年末年始を除く
- メール: support@snet-fukuoka.org または info@snet-fukuoka.org
- 来所相談: 「常設ママズカフェ」へお気軽にお越しください。

※常設ママズカフェは、避難生活に関する悩み相談や避難者同士の交流などを目的とした交流の場です。どうぞ気兼ねなくお越しください。当面は平日のみですが、今後、準備が出来次第、土・日も運営する予定です。

■常設ママズカフェ案内図



■アクセス
JR 箱崎駅を降りて妙見通りを総合庁舎の方向へ。総合庁舎の一步手前の路地を右に、さらに一つ目の細い路地を左に進むと突き当たりの右手前に古い平屋がございます。そこが常設ママズカフェです

■ご利用時間
平日 10時～17時(年末年始を除く)

こちらです！

平成 26 年度
県外自主避難者等への情報支援事業
受託事業者向け業務の手引き

平成 27 年 3 月 16 日 改訂
平成 26 年 12 月 19 日 改訂
平成 26 年 9 月 19 日 改訂
平成 26 年 6 月 6 日 策定

目 次

1. 情報提供事業（ニュースレターの発行・提供）	1
2. 情報提供事業（支援情報説明会及び避難者相互の情報共有の場の提供）	9
3. 相談支援事業	14
4. 全国避難者情報システムに未登録の避難者への支援	16
5. 事業遂行	17
6. 様式集	18

1. 情報提供事業（ニュースレターの発行・提供）

1.1 目的

- インターネットを利用できない環境にいる避難者にも、避難元や避難先の情報を提供する。

1.2 ニュースレター制作・発送

- 支援希望者に向けて、ニュースレターの発送を行う。各ニュースレターの情報対象期間、発送日は以下のとおりとする。

表 1-1 ニュースレターの情報対象期間と発送予定日

送付回数	情報対象期間	情報提供締切日	発送予定日
第1回	2014年4月1日 ～ 5月31日	—	2014年6月9日（月）
第2回	2014年6月1日 ～ 7月21日	2014年7月21日（月）	2014年8月8日（金）
第3回	2014年7月22日 ～ 10月27日	2014年10月27日（月）	2014年11月14日（金）
第4回	2014年10月28日 ～ 2015年1月12日	2015年1月12日（月）	2015年1月29日（木）

1.2.1 資料構成

- ニュースレターの構成は以下の通り。

表 1-2 ニュースレターの資料構成

資料	概要	印刷様式
発送用封筒	以下の資料を発送するために必要な封筒	角2封筒
送付状	資料の概要や連絡先を記載した資料。	A4 白黒片面 1 ページ
支援情報説明会・交流会案内チラシ	支援情報説明会の開催日時や場所などを記載した資料。	A4 白黒両面 1 ページ
総合目次	避難元情報および避難先情報の構成内容を記載した資料。	A4 白黒片面 1 ページ ※色紙を使用
避難元情報	・ 避難元地域の自治体が定期的に発行している避難者向け広報誌 ・ 避難元地域の自治体が WEB サイトの記者発表や新着情報で随時発信している避難者向け情報	資料内容に応じて調整 ※表紙は色紙を使用
避難先情報	・ 避難先地域の自治体が WEB サイトの記者発表や新着情報で随時発信している避難者向け情報	A4 白黒両面 分量は内容に応じて調整 ※表紙は色紙を使用
その他	・ その他、復興庁、事業管理者が発送を指示するもの	A4 白黒

- 事業管理者が原稿を作成 受託事業者が原稿を作成

1) 発送用封筒

- 受託事業者で適当な封筒を制作する。（通常、団体で使用しているもので可）

2) 送付状

- 送付状は、事業管理者が原稿を作成し、原稿ファイルを受託事業者に支給する。
- 送付状には、発送の主旨や資料の概要、問合せ先等、必要事項を記載する。
- 様式 1-1 を参照

3) 支援情報説明会・交流会案内チラシ

- 支援情報説明会・交流会案内チラシは、受託事業者が原稿を作成し、事業管理者に確認を得る。
- 案内チラシの左上に「福島県から〇〇県に自主避難されている皆様へ」と記載する。
- 資料タイトルは「復興庁『県外自主避難者等への情報支援事業（平成 26 年度）』第〇回 支援情報説明会・交流会」とする。
- 案内チラシには、当日の概略プログラムの他、日時、会場へのアクセス、申込み連絡先等を記載する。
- 様式 1-2 を参照

4) 総合目次

- 総合目次は、事業管理者が原稿を作成し、原稿ファイルを受託事業者に支給する。
- 総合目次には、ニュースレターとして発送する避難元情報、避難先情報が一覧できるものとするが、「自治体が随時発信する避難者向け情報」の内容は、「自治体が随時発信する避難者向け情報」の冒頭に別途目次を設けるため、総合目次では、「福島県・県内市町村等のその他ホームページ新着情報」及び「避難先地域の新着情報」とする。
- 様式 1-3 を参照

5) 避難元情報

- 避難元情報は、[自治体が定期的に発行する避難者向け情報]と[自治体が随時発信する避難者向け情報]により構成し、事業管理者が原稿を作成し、受託事業者に支給する。受託事業者にて印刷し支援対象者に発送する。
- 避難元情報は、発信される情報量に応じて圏域別に制作する。

[自治体が定期的に発行する避難者向け情報]

- 福島県による「ふくしまの今が分かる新聞」のように、福島県及び県内市町村が避難者向けに定期的に発行する情報誌とする。
[自治体が定期的に発行する避難者向け情報]は、前回の発送日以降に公表された発行号は全て発送する。

【自治体が随時発信する避難者向け情報】

- 福島県及び県内市町村のホームページの最新情報などで避難者支援に関わる情報を収集し掲載する。
- 冒頭に目次を設けて、情報の分野、情報タイトル、発信主体、ページ数を記載する
- 各ページにページ番号を記載する。
- 文章内容の加工は行わず、WEBに開催されている情報を画像としてそのまま掲載することを基本とする。(文字のみの転記の場合、転記ミス、編集時の誤植が懸念されるため。)
- サイトマップや別画面へのバナーなど、情報内容と無関係の部分は、必要に応じて、削除・省略(画像トリミング)するなど読みやすさへの工夫を行う。
- 様式 1-4 を参照(目次部分のみ)

表 1-3 圏域別ニュースレターの概要

地域	市町村
県北版	福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村
県中版	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
県南版	白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村
会津版	会津若松市、喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町
浜通り版	相馬市、南相馬市、新地町、いわき市

6) 避難先情報

- 避難先情報は、[自治体が随時発信する避難者向け情報]により構成し、受託事業者が原稿を作成・印刷し、事業管理者の確認を得るものとする。
- [自治体が随時発信する避難者向け情報]は、避難元情報と同様、避難先自治体のホームページで公表されている情報を収集する(収集方法は後述)。

【自治体が随時発信する避難者向け情報】

- 避難先都道府県及び市町村のホームページの最新情報などで避難者支援に関わる情報を収集し掲載する。
- 冒頭に目次を設けて、情報の分野、情報タイトル、発信主体、ページ数を記載する
- 各ページにページ番号を記載する。
- 文章内容の加工は行わず、WEBサイトに開催されている情報を画像としてそのまま掲載することを基本とするが、サイトマップや別画面へのバナーなど、情報内容と無関係の部分を必要に応じて、削除・省略(トリミング)するなど読みやすさへの工夫は可とする。
- 避難先情報は、発信される情報量に応じて圏域別に制作する。
- 様式 1-4 を参照(目次部分のみ)

【収集する情報内容についての留意事項】

- 収集する情報は、支援対象地域の都道府県、各市町村等が発信する支援情報とし、以下のような情報が該当する。
 - ✓ 住宅支援に関する情報
 - ✓ 医療費補助等、健康管理に関する情報
 - ✓ 雇用に関する情報
 - ✓ 避難者が参加可能なイベント等に関する情報
 - ✓ 避難先地域の放射線量に関する情報
 - ✓ 相談窓口に関する情報
 - ✓ その他
- 以下の様な情報は最終的にニュースレターからは除外する。
 - ✓ ニュースレターが避難者へ届く時点で開催日や応募締切日が過ぎてしまうもの
 - ✓ 募集に関する情報の、応募申込書の部分
 - ✓ 一般向けの広報誌など、とくに避難者を対象としていないもの
 - ✓ 他の資料に同様の内容が記載されているもの

情報を収集する際には表 1-4 のような表を作成して記録・整理する。表頭の項目の記入内容は以下のとおり。

表 1-4 自治体が随時更新する情報の記録・整理

No.	市町村名	分類	記事内容	更新日	発信日	採用	不採用	理由
1	福島市	放射線	【水稲・大豆・小豆・そば】の吸収抑制対策を実施しています。	4月1日	5月26日	○		生産者向け
2	福島市	放射線	食品のみこと測定をおこなっています。	4月1日	5月26日	○		対象者は市内居住者向け
3	福島市	放射線	一家族の食卓に登場する放射性物質の測定結果をお知らせします	4月15日	5月26日	○		
4	福島市	放射線	山梨・たけのこの産出・出荷等に注意ください	4月24日	5月26日	○		県内居住者向けの情報
5	福島市	放射線	全市放射線量測定マップ(平成26年3月3日～20日実施)	4月26日	5月26日	○		
6	二本松市	放射線	市内体育施設の測定結果	5月16日	5月26日	○		10ページと多い。数字の誤り情報
7	二本松市	放射線	飲料水(水道水)の放射性物質モニタリング検査結果	5月23日	5月26日	○		直注1ページ分のデータは全て削除
8	川俣町	放射線	川俣町内環境放射線量測定結果(暫定値)	5月23日	5月26日	○		空箱放射線量は放射線量等分布マップに集約
9	大玉村	放射線	水道水放射線物質検査結果	5月26日	5月26日	○		空箱放射線量は放射線量等分布マップに集約
10	大玉村	放射線	農作物等放射性物質測定結果について	5月26日	5月26日	○		福島県のモニタリング情報があるため重複
11	郡山市	放射線	放射線量マップ	4月25日	5月26日	○		空箱放射線量は放射線量等分布マップに集約
12	福島市	復興状況イベント	福島市親子で分香組 4月放送分「地域の魅力で、おとなしープレイドCキャンベーション」を配信	4月24日	5月26日	○		動画リンク
13	福島市	復興状況イベント	市親子して「番組」希望ある復興へ「4月放送分」防災情報を、多様な手段でお伝えします「動画」	5月5日	5月26日	○		動画リンク
14	伊達市	復興状況イベント	避難者連帯の語らいの場「ハハママさん」	5月21日	5月26日	○		
15	中島村	復興状況イベント	平成26年度第1回結いの会新市を開催します	5月19日	5月26日	○		開催日が5/25
16	福島市	被災者支援	福島県外で内部被ばく検査を実施しています	4月11日	5月26日	○		2/26の報告とやや古い委員をや開催日時など、本質的でない情報が版面を占める割合が多い
17	福島市	被災者支援	健康管理に専門家のアドバイスを生かしています(福島市健康管理検討委員会)	4月11日	5月26日	○		今回の対象地域には関係がない
18	福島市	被災者支援	愛知県 長野県 静岡県で内部被ばく検査が行なわれます	4月14日	5月26日	○		今回の対象地域には関係がない
19	福島市	被災者支援	岐阜県で内部被ばく検査が行なわれます	4月21日	5月26日	○		今回の対象地域には関係がない
20	福島市	被災者支援	個人線量計(ガラスバイパ)のアンケート結果をお知らせします	5月1日	5月26日	○		
21	福島市	被災者支援	山梨県で内部被ばく検査が行なわれます	5月12日	5月26日	○		今回の対象地域には関係がない
22	福島市	被災者支援	ホールボテドカウンタによる内部被ばく検査の結果をお知らせします【平成26年3月31日現在】	5月22日	5月26日	○		
23	白河市	被災者支援	ガラスバイパによる外部被ばく検査の測定結果	5月9日	5月26日	○		
24	会津坂下町	被災者支援	ガラスバイパによる内部被ばく検査について	5月23日	5月26日	○		検査会場が町内である
25	いわき市	被災者支援	ホールボテドカウンターによる内部被ばく検査結果(25上半年)の状況について	5月1日	5月26日	○		
26	いわき市	被災者支援	ガラスバイパ検査計による外部被ばく検査(25上半年)測定結果概要	4月29日	5月26日	○		
27	伊達市	その他	県外に避難した人の相談窓口をご利用ください	4月1日	5月26日	○		地図が表示できないので、加工が必要
28	川俣町	その他	福島県弁護士会による無料相談について	5月1日	5月26日	○		県内居住者向けの情報
29	川俣町	その他	町外避難者数	5月1日	5月26日	○		
30	川俣町	その他	ふるさと福島協働センター相談窓口のお知らせ	5月8日	5月26日	○		開催日5/20 開催時間が19ページと分量が多い
31	須賀川市	その他	須賀川市の親子力災害対策	4月1日	5月26日	○		6ページのガラスバイパと検査事業者の情報は避難者に有用ではないと判断
32	浅川町	その他	ふくしま産業復興投資促進特区の復興推進計画に係る指定事業者一覧	5月1日	5月26日	○		被災事業者の情報は避難者に有用ではないと判断
33	宮城県	その他	「古戦町」ふるまふのこころ(古戦)が開催しました	4月14日	5月26日	○		
34	福島市	その他	災害対策協議会のお知らせ(親子力災害対策)に係る相談窓口の日程を更新しました	5月8日	5月26日	○		備前相談窓口は全体情報に

(情報収集及びニュースレター制作にあたっての留意事項)

- 支援対象地域の都道府県、各市町村等（注）が発信する避難者向けの支援情報とし、広報紙、チラシ、発信者のWEBサイト等における掲載情報の抜粋（又は全体）をそのまま画像として転載することを基本とする。
（注）各市町村等とは、地方自治体のほか、公的機関を指す。
- ニュースレター閲覧の視認性を考慮して編集する場合は、発信者以外の者の主観的なコメントや誘導等は、一切加えないこととする。この「発信者以外の者の主観的なコメントや誘導等」の排除については、本事業の公正性・中立性を保つ上での重要な前提要素であるため、本事業全般の遂行にあたり十分留意すること。
- 避難元ニュースレター、避難先ニュースレターとも圏域別に制作し発送することを基本とし、支援対象者から希望があれば全域版を送付する。

1.2.2 発送までの流れ

(1) 発送スケジュールの確認

- ニュースレター発送予定日の概ね**一か月前**を目安に、**事業管理者**から発送スケジュールを通知する。
- 支援情報説明会・交流会の案内を同封するため、その発送予定日は、支援情報説明会・交流会開催日程を踏まえて設定する（最短でも開催の**2週間前**には発送するよう調整する）。

(2) 情報目次の提出

- ニュースレター発送の概ね**2週間前**を目安に、**受託事業者**は事業管理者へ避難先情報の目次を提出する。目次は、情報内容と発信主体がわかる形にする。
- 同様に、事業管理者から**受託事業者**へ避難元情報の目次が提出される。
- いずれの情報も復興庁が内容を確認し、必要に応じた修正が事業管理者へ指示される。これに伴い、事業管理者から避難先情報の修正指示をを**受託事業者**に行う。

(3) 原稿の確認

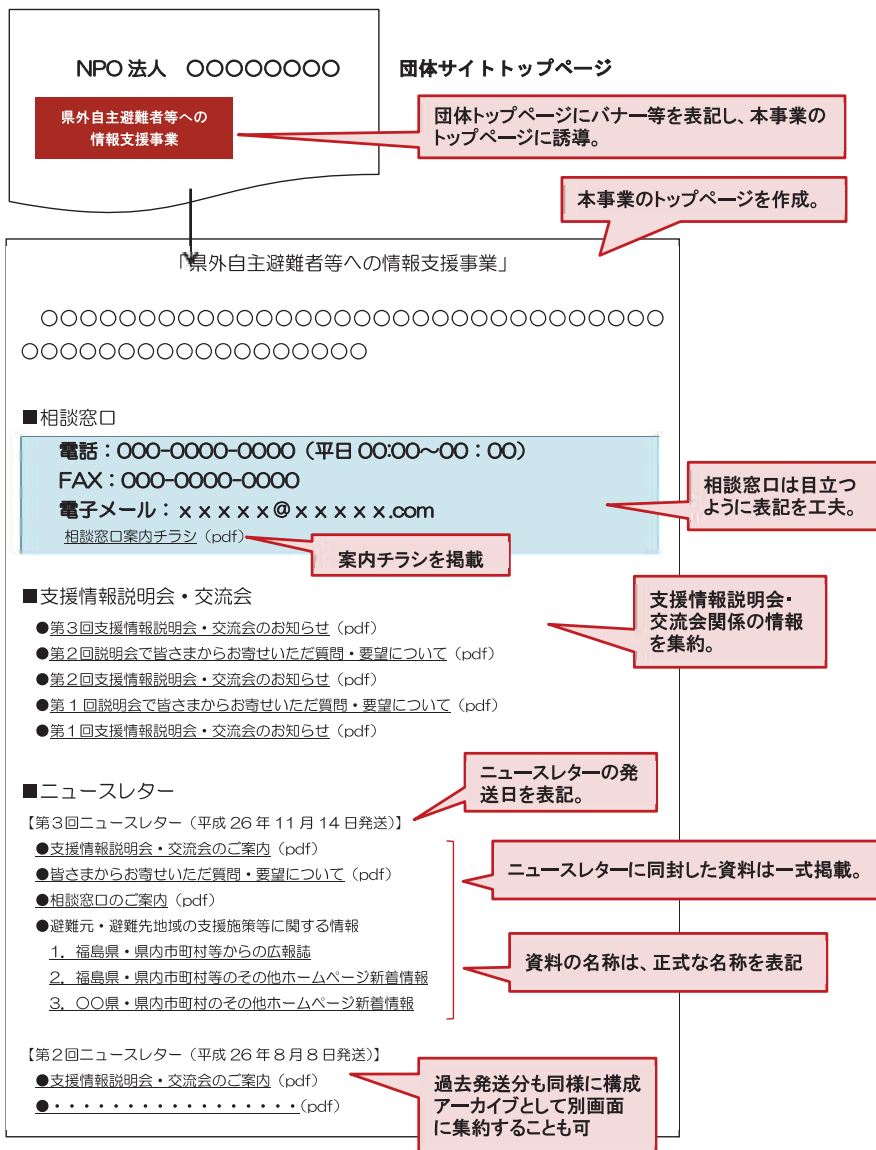
- ニュースレター発送の概ね**7~10日前**を目安に、**受託事業者**は避難先情報の原稿案を事業管理者へ提出する。復興庁および事業管理者が内容を確認し、事業管理者から**受託事業者**へ原稿確定を通知する。

(4) 発送

- **発送日の7日前まで**に、事業管理者から**受託事業者**へ送付状、避難元情報の印刷原稿、及び発送宛先リスト（CD-ROM、リストに変更があった場合のみ）を送付する。
- 受託事業者は、送付状、封筒、避難元情報、避難先情報などの印刷を行い発送の準備を進める。

(5) WEB掲載

- **受託事業者**は、団体のホームページに本事業の実施について掲出するとともに、発送するニュースレターをホームページでダウンロードできるようにする。
- ホームページに掲載する資料は、発送した資料全てとし、資料ごとにダウンロードできるよう工夫する。ファイルサイズが余り大きくならないようにも配慮する。
- なお、団体のホームページで復興庁のロゴマークを用いる場合は予め、事業管理者に届け出て、復興庁の承諾を得ること。
- ホームページは、わかりやすさ、みやすさに留意し、以下の工夫を行う。（次頁参照）
—本事業全体のトップページを設け、団体のトップページからわかりやすく誘導する。
—本事業のトップページでは相談窓口の案内を顕在化すると共に、ニュースレター、支援情報説明会・交流会の情報の全体像を列記する等、各情報への誘導を行う。
—各回のニュースレターで発送した情報は、全て、各回のニュースレター掲載頁に一覧で掲載する。



1.2.3 宛先・部数

- 希望確認書の返送等によってとりまとめた希望者の宛先データは、事業管理者がCD-ROMに保存して受託事業者へ発送する。
- データCDにはパスワードが設定されており、パスワードは別途、通知する。
- 宛先データは、随時、追加や削除等、変更が発生するものであり、ニュースレターの発送に際しては、最新のリストを使用するよう注意する。
- 受託事業者が独自に支援希望者を把握した場合は、その件数を速やかに事業管理者へ報告すること。
- 提供する宛先データのイメージは以下のとおり。

表 1-5 宛先一覧のイメージ

番号	宛名	避難先		避難元		電話番号	備考
		郵便番号	住所	郵便番号	住所		
1	○○	000-	北海道札幌市・・・	000-	福島県福島市・・・	090-	
2	××	000-	北海道旭川市・・・	000-	福島県郡山市・・・	080-	
3	△△	000-	北海道函館市・・・	000-	福島県相馬市・・・	070-	

2. 情報提供事業（支援情報説明会及び避難者相互の情報共有の場の提供）

2.1 目的

- 自主避難者に対して、避難元、避難先及び有識者による支援情報を提供することにより、自主避難者の生活支援や「避難生活」から「自立した生活」できるよう支援する。

2.2 業務手順

- 受託事業者は、支援希望者を対象に、支援情報説明会及び避難者相互の情報共有の場（以下、「交流会」という）を主催し、その準備・企画・開催を行う。
- 支援情報説明会・交流会の準備状況は、その進捗状況を逐次、事業管理者に報告する。
- 支援情報説明会・交流会の開催準備は、概ね下表の手順である。

表 2-1 支援情報説明会及び交流会の開催手順

手順	概要
開催日時・場所の決定	● 事業管理者は、ニュースレター発送予定日（支援情報説明会・交流会開催チラシを同封）の概ね一か月前を目安に支援情報説明会・交流会開催期間を受託事業者に通知し、希望する開催日時を確認、必要に応じて日程調整を行い、開催日を決定する。
プログラム（案）の作成	● 受託事業者は、ニュースレター発送予定日の概ね 2～3 週間前にプログラム案を事業管理者に提出し、内容の確認を得る。
避難元・避難先自治体、有識者等との調整	● 事業管理者は、プログラム（案）に基づき避難元からの説明テーマに沿って福島県（または、福島県内市町村等）に連絡し、対応の可否と対応部署、対応窓口を調整したうえで、調整結果を受託事業者に通知する。 ● 避難先自治体及び有識者へは、受託事業者が直接依頼する。
開催案内チラシの完成	● 受託事業者は、ニュースレター発送予定日の概ね 10 日前を目途に、開催案内チラシ原稿案を提出し、その内容の確認を得る。
参加促進のための広報計画の作成と進捗確認	● 支援情報説明会・交流会の参加促進のため、受託事業者は広報計画を作成し事業管理者に提出する。 ● 事業管理者は、広報計画の内容を確認した上で、計画に記載された取組みについて随時、進捗を確認する。
次第、座席表、使用する資料の確認	● 受託事業者は、支援情報説明会・交流会等開催日の概ね 7 日前までに、次第、座席表、使用する説明資料を提出し、内容の確認を得る。
支援情報説明会・交流会等の開催	● 受託事業者は、支援情報説明会・交流会を開催し、次第にもとづき適切に運用する。 ● 事業管理者は、支援情報説明会・交流会に出席し、当日の開催記録（写真、議事録）を作成する。
議事録の確認、配布資料の提出	● 事業管理者が作成した開催記録を受託事業者は確認を行う。 ● 受託事業者は、支援情報説明会・交流会で配布された資料一式の電子データ及び、アンケート回収票を支援情報説明会・交流会終了後、速やかに事業管理者に提出する。なお、配布資料は、復興庁ホームページに掲載する。

2.2.1 開催日時・場所の決定

- 開催日時は、平日、10 時～17 時の間の開催を原則とするが、避難者のニーズに基づき、地域の実情に応じて調整する。仕事があり休日の要望もあるが、母子避難者からは平日午前中を要望する意見が多いことを踏まえるとともに、避難先自治体、避難元自治体等の都合に配慮し、事業管理者と事前に十分に調整を図ることとする。
- 開催会場は、県内・地域内の県外自主避難者数を考慮し、3 回の支援情報説明会・交流会のうち、開催場所を変更することにも配慮する。

2.2.2 プログラム（案）の作成

- 支援情報説明会は、①避難元自治体からの支援情報提供、②避難先自治体からの支援情報提供、③有識者からの支援情報提供の 3 つのプログラムで構成することを基本とする。なお、必ずしもこの 3 つのプログラムを必須とはせず、自主避難者のニーズ等に応じて柔軟に対応する。
- 全 3 回の開催のうち、1 回は受託事業者の自主企画とし、上記の基本構成に限定しないものとする。
- 説明者は避難元関係者 2 名以内、避難先関係者 2 名以内、有識者 1 名を基本とする。

表 2-2 避難元・避難先・有識者の情報提供の例（平成 25 年度事業で実施した内容）

避難元	避難先	有識者
● 県外避難者を対象とした県民健康管理調査について	● 就労支援について	● 「日々の暮らしの中での心と身体の健康を考える」（山形）
● 福島県における就労について	● 住宅支援について	● 「自主避難者支援の現状と今後の課題」について（新潟）
● 借り上げ住宅について		● 「心のケア—ほっとルームの活動を通して」について（大阪）

- 支援情報説明会の後、交流会を開催する。交流会は、避難者相互で情報を共有し、交流を深めることが主な目的であることから、その運営方法は工夫すること。
- 具体的には、テーブルの配置方法の工夫、ファシリテーターの活用、また軽食を準備するなど、避難者相互の関係がより強化されるよう、交流会を企画する。

表 2-3 交流会の開催例（平成 25 年度事業で実施した内容）

● いくつかのグループにわかれて、軽食を取りながらアイスブレイクを実施
● ファシリテーターを活用して、避難者相互の心配事等の情報の吸い上げ
等

2.2.3 避難元・避難先自治体、有識者等との調整

- 避難元自治体（福島県）への情報提供の依頼については、提出されたプログラム（案）に基づき事業管理者が一括して調整を行うが、受託事業者は、避難者のニーズを踏まえ、予め避難元自治体等に提供してほしい情報を示すこととする。
- 避難先自治体への情報提要の依頼については、受託事業者が行う。避難者のニーズを踏まえ、避難先自治体等へ提供してほしい情報を示し、調整を図ることとする。
- なお、交通費等の支払いについては、避難元、避難先、有識者のいずれも受託事業者が支払うものとする。避難元自治体への交通費等支払いについては、以下に基づく。

【交通費等の支払いについて】

①交通費について

- ・ 移動区間は、「出発地（福島駅）－会場」と設定。
- ・ 公共交通機関の利用を前提に、Web の路線検索で最短で出てくる、一般的な移動ルートを選択。
- ・ 新幹線や特急を利用する場合は「指定席」で設定。
- ・ 高速バスの利用も可。ただし、路線バスの利用は想定しない。
- ・ 会場が最寄り駅から徒歩で15分以上離れている場合は、タクシー利用が可。

②宿泊費について

- ・ 宿泊費が発生する場合は地域に関わらず 9,500 円定額支払いとする。

③日当について

- ・ 日当は支払わないこととする。

2.2.4 開催案内チラシの作成

- 受託事業者は、ニュースレター発送予定日の概ね 10 日前を目途に、開催案内チラシ原稿案を提出し、事業管理者にその内容の確認を得る。開催案内チラシの構成は、様式 1-8 を参照のこと。
- 開催案内は、送付されるニュースレターに同封し、支援希望者に事前に通知するほか、公共施設等に配布して広く告知しても構わない。
- ニュースレター発送と同時に、受託事業者ホームページに、支援情報説明会・交流会開催情報を掲示する。加えて、開催案内チラシをダウンロードできるようにする

2.2.5 参加促進のための取組みの実施

- 受託事業者は、開催案内チラシ発送後、支援情報説明会・交流会の参加促進に向けて、広報計画を作成するとともに、計画に基づき広報活動を実施し、実施状況及び実施結果について、事業管理者に随時、報告する。
- 広報計画の具体的な内容は、必ず実施する活動を「基本活動」として表 2-4 に示す。基本活動は、実施を必須とするものの、具体的な実施数等、詳細は、各地域の状況等に応じて柔軟に設定する。

表 2-4 参加促進のための広報活動

	項目	内容
基本活動	1 案内チラシ再発送	・ニュースレターに同封したチラシを開催 1 週間から 10 日前を目安に再発送する。 ・支援対象者が少ない地域では手書きレターも添えて発送。
	2 地元自治体や支援団体等を通じた避難者への周知	・地元自治体、支援団体にチラシ等、情報を提供し、繋がりのある避難者に周知を得る。
	3 避難者の集まるイベント・会合等の場で案内(チラシを配布)	・避難者が集う集会やイベント等に出向き、個別の声掛けやチラシを配布する。
	4 公共施設等への案内チラシの設置	・避難者が訪問する公共施設等にチラシを設置する。
	5 個別訪問、個別連絡	・支援対象者に電話または訪問し、開催情報を伝えると共に参加を促す。
任意活動		・交通費の補助や送迎バスの運行の他、地域や支援情報説明会・交流会の開催場所などの状況を踏まえて、受託事業者が任意に設定する。

2.2.6 次第、座席表、使用する資料の確認

- 受託事業者は、支援情報説明会・交流会開催日の概ね 7 日前までに次第、配席図、評価アンケート（後述）を作成し、事業管理者に報告する。次第、配席図、評価アンケートは、様式集を参考にすること。

2.2.7 支援情報説明会・交流会の開催

- 支援情報説明会及び交流会の司会進行は受託事業者が行う。（交流会は、受託事業者による進行が困難な場合は、ファシリテータ等、受託事業者が依頼した専門家が進行することも可。）
- 議事要旨は、原則、事業管理者が取りまとめるが、受託事業者においても、録音、撮影等、記録を行う。なお、やむを得ない事由により支援情報説明会に事業管理者が参加できない、あるいは、自主企画として取り組む支援情報説明会で事業管理者の立会いが不要と判断した支援情報説明会については、受託事業者が議事要旨を作成し、事業管理者に提出する。
- 交流会は参加人数によって適切に企画、進行すること。

(1) 参加受付

- 参加者は、開催案内で把握するとともに、当日参加も想定されるため、受付を設置し、参加者の氏名、避難元住所、避難先住所、全国避難者情報システム（総務省）の登録状況を記録する。なお、福島県からの自主避難者が本事業の対象であることから、これを区分して把握すること。

(2) 開催・運営にあたっての諸注意

1) マスコミ対応

- 支援情報説明会・交流会の取材対応については、事前受付において、「ご取材に当たってのお願い」を通知する。また、これに応じる旨の誓約書の提出を義務付けることとする。

2) 支援情報説明会・交流会の進行に関する留意事項

- 参加者から質問等を受ける際は、避難元市町村名、避難先市町村名を発言いただいた後、ご質問等を発言いただくよう誘導する。
- 支援情報説明会・交流会の趣旨である、県外自主避難者への適切な支援情報の提供等が、何らかの事由で妨げられた場合を想定し、様式集にある「支援情報説明会・交流会の進行に関する留意事項について」を関係者間で認識し、発生時の対応にあたることとする。なお、本資料は、必要に応じて参加者にも配布する。

(3) 評価アンケートの回収

- 参加者アンケートは、様式集に示す、評価アンケートひな形を活用し、受託事業者において必要と考えられる質問を 1 つまで追加できる。アンケートの配布・回収は当日行い、回収後は、コピーあるいは PDF ファイルで事業管理者に速やかに提出する。

2.3 議事録の確認、配布資料の提出

- 受託事業者は、事業管理者が作成した開催記録を確認し、必要に応じて修正を指示する。
- 支援情報説明会で投影または配布された資料は、復興庁のホームページに掲載する。このため、受託事業者は、その電子データを事業管理者に提出する。
- 説明資料を復興庁のホームページに掲載することについて、受託事業者は、説明者に伝え、予め了解を得ること。説明者が掲載を拒否した場合は、その旨、事業管理者に通知する。

3. 相談支援事業

3.1 電話・メールによる相談窓口の開設

- 受託事業者は、電話やメールに加えて、支援情報説明会・交流会開催時等においても、支援希望者からの相談対応を行う。相談窓口の設置方法や相談者の受付方法等は受託事業者が企画・運営する。
- 受託事業者は、相談受付担当をおき、電話やメールによる相談の受付、回答、質疑応答の体制を整えるものとする。週 2 日を電話やメールでの相談日とすることを原則として、受付期間の延長や面談による相談対応など、受託事業者が創意工夫して構わない。

3.2 自ら避難者の元に向く相談活動の実施

- 避難者支援活動として、各種会合やイベントに出席した際、相談窓口の開設について周知するとともに、その場で受けた相談についても受付件数として記録する。
- また、これらイベント・会合等に積極的に出向き、出張相談を実施する。これにより、相談窓口の周知拡大が図られるとともに、避難者との信頼関係の構築に繋がり、支援情報説明会・交流会の参加促進も期待される。

3.3 相談対応

- 相談内容によっては、必要に応じ、各受託事業者のネットワークを活用し、行政機関や専門機関、パーソナルサポート団体等への橋渡しを行う。具体的には、支援希望者への適切な相談窓口の紹介や、相談内容の専門機関への事前報告等のサポートを行う。
- また、相談受付時に、相談内容を聴取するとともに、既に本事業における支援対象者であるか、全国避難者情報システム（総務省）の登録者であるかを確認し、支援希望者で無い場合は支援の実施を、システム未登録者の場合はシステムへの登録を促す。
- 最終報告時には、相談受付内容のほか、相談事業による支援希望者の増加数、全国避難者情報システム（総務省）の未登録者数を報告する。

3.4 相談結果の報告

- 支援希望者より寄せられた相談の内容及びその対応結果は、様式 3-1 の相談受付票に逐次記録し、その日のうちに事業管理者にメール添付にて送付する。ただし、相談者の氏名等の個人を特定する情報は削除し送付する。
- 支援情報説明会・交流会の自主企画において特設相談窓口、出張相談会を実施した場合、その取組の中で実施した相談受付も相談窓口の実績として記録・カウントを行う。

表 3-1 相談内容の区分

内容区分	種別
情報提供事業（ニュースレター等）について	意見/要望
	質問/相談
	その他
住宅支援等について	意見/要望
	質問/相談
	その他
生活支援等について	意見/要望
	質問/相談
	その他
ADRについて	意見/要望
	質問/相談
	その他
その他	

3.5 相談事業の告知

- 受託事業者は、相談受付の設置をニュースレターや支援情報説明会・交流会等の機会をとらえて十分に告知し、活用いただくよう努める。なお、各受託事業者のホームページにも電話番号やメールアドレスを掲載する。特に、発送するニュースレターには毎回、相談窓口の案内チラシを同封する。
- 相談窓口の案内チラシには、相談員の自己紹介や相談内容の例示を掲載するとともに、相談員のイラストを掲載するなど、親近感・安心感醸成の工夫を行う。

4. 全国避難者情報システムに未登録の避難者への支援

4.1 問題認識

- 「全国避難者情報システム（以下、システム）」に登録されている県外自主避難者については、その登録情報から避難先を特定できるが、未登録の県外自主避難者については、避難先を特定できないため、このままでは、本事業による支援を行うことができない。
- 本事業の受託事業者が持つ情報を活用することで、避難先が特定できていない県外自主避難者についても支援することができないか。

4.2 システム未登録の避難者の支援のあり方

- 受託事業者においては、本事業の中で、未登録者の把握に努めていただくほか、団体の独自事業等の中でも、積極的な掘り起こしにつとめていただき、把握された未登録者については、以下を行うものとする。
 - ① 本事業による支援希望の有無の確認及び登録
 - ② 全国避難者情報システムへの登録の推奨及び支援

4.3 具体的な取組

- ①本事業の支援情報説明会・交流会開催時における対応
 - 受付又は全体アナウンスにおいて、本事業による支援希望の未登録者を確認・把握し、4.2の①及び②を実施
 - 支援情報説明会・交流会のアンケートでもシステム登録の有無を確認し、上記の確認漏れを防止する。
- ②本事業の相談受付等における対応
 - 相談事業において、本事業による支援希望の未登録者を確認・把握し、4.2の①及び②を実施
- ③上記以外の受託事業者独自の取組における対応
 - 受託事業者の本来業務における各種支援において、本事業による支援希望の未登録者を積極的に確認・把握し、4.2の①及び②を実施
 - なお、上記取組をより効果的なものとするよう、支援情報説明会・交流会開催案内や相談受付開設のお知らせチラシ等を、受託事業者のWebサイトに掲載するとともに、公共施設等に設置し、本事業への認知拡大を図る。

5. 事業遂行

5.1 遂行体制

- 受託事業者は、事業遂行にあたり、事業管理者の求めに応じて必要な報告を行う。
- 受託事業者は、情報提供事業（ニュースレターの発行・提供）、情報提供事業（支援情報説明会・交流会開催）、相談支援事業のそれぞれの責任者を明確にして、それぞれ遅滞なく進める体制を構築する。

5.2 月間作業報告書の提出

- 受託事業者は、様式 4-1 月間作業報告書の様式にもとづき、当月の業務内容や課題を報告する。報告月の翌月 10 日を提出期限として、事業管理者にメールで送付する。

5.3 事業の総括と課題

- 受託事業者は、事業終了月に、事業管理者の設定した期日までに、様式 4-2 事業の総括と課題の様式にもとづき、事業成果ならびに遂行の課題を報告する。
- なお、当月の月間作業報告書は、この事業の総括と課題で代替する。

6. 様式集

<目次>

1. 情報提供事業（ニュースレターの発行・提供）
 - 様式 1-1 送付状
 - 様式 1-2 支援情報説明会・交流会案内チラシ
 - 様式 1-3 総合目次
 - 様式 1-4 避難元・避難先情報の目次
2. 情報提供事業（支援情報の説明会開催）
 - 様式 2-1 支援情報説明会・交流会次第・配席図
 - 様式 2-2 評価アンケート
 - 様式 2-3 ご取材に当たってのお願い
 - 様式 2-4 支援情報説明会・交流会の進行に関する留意事項について
3. 相談支援事業
 - 様式 3-1 相談受付票
4. 事業遂行
 - 様式 4-1 月間作業報告書
 - 様式 4-2 事業の総括と課題

(様式 1-1)

平成 26 年 月 日

復興 庁
株 三 菱 総 合 研 究 所
(特 非) 〇〇〇〇〇〇〇 センター

第〇回ニュースレターのご送付

「県外自主避難者等への情報支援事業（平成 26 年度）」に基づく第〇回ニュースレターを送付させていただきます。

本資料は、先日、お送りした第 1 回ニュースレターに同封した希望確認書により、情報提供を希望された方にお送りしております。

前回お送りした元々のお住まいの地域の情報に加え、今回は現在お住まいの地域の情報や、それらに関する説明会、避難者相互の交流会のご案内なども追加して送付させていただいております。

【受託事業者】三菱総合研究所から業務を委託

特定非営利活動法人 北海道 NPO サポートセンター

〒060-0906 札幌市東区北 6 条東 3 丁目 3-1 LC 北六条館 6 階

TEL : 011-299-6940 (平日 10 時 00 分～18 時 00 分)

【事業管理者】復興庁から業務を委託

株 三 菱 総 合 研 究 所 内 「県外自主避難者等への情報支援事業」事務局

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

TEL : 0120-875-507 (平日 9 時 30 分～12 時 00 分、13 時 00 分～17 時 00 分)

【実施主体】

復興 庁 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三會堂ビル

※ 三菱総合研究所及び北海道 NPO サポートセンターは、支援対象者の個人情報を適切に保護し、厳重に管理いたします

(様式 1-2)

福島県から京都府に自主避難されている皆さまへ

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」 支援情報説明会・交流会のご案内

日時 平成 26 年 12 月 13 日 (土) 10 時 30 分～

会場 「聞法会館」3F
京都市下京区堀川通花屋町上ル 西本願寺北

MAP
裏面参照

内容

10:30～ 開会 (受付 10:15～)
復興庁からの説明
・「子ども被災者支援法」関連施策の現在の取組状況

10:45～ 京都府からの説明
・子育てママの就労支援について (京都府マザーズジョブカフェ担当者)

11:05～ 質疑応答

11:30～ 有識者による講演「心が元気になるために」
講師：日本医科大学特任教授 海原純子氏

12:30～ 昼食 (無料) & 交流会 & リラックスコーナー (足裏マッサージ)

14:00～ 閉会 ～その後残りたい方は自由参加

15:00 終了

入退場自由

託児所あり

矢尾定さん
お弁当

昼食やリラックスコーナーもご用意しておりますので、ぜひお誘いあわせの上ご参加くださいませ。

講師のプロフィール



うへはら じゅんこ
海原 純子
日本医科大学
特任教授

プロフィール/東京慈恵会医科大学卒。心療内科医。医学博士。ハーバード大学客員研究員を経て現職。日本ストレス学会評議員。日本ポジティブサイコロジー学会理事。女性のストレス性疾患のサポートには定評があり、読売新聞人生案内回答者として連載執筆中。また、震災後は、避難所となった増玉アリーナで呼吸法やポティーフワークをもとにしたリラクストレーニングの実施や避難所でのボランティア活動を行う。2013年10月から2014年3月まで復興庁心の健康サポートセミナー事業の統括責任者として被災地で講演及び講習会を行う。近著に「困難な時代の心のサブリ」（毎日新聞社）などがある。

お問合せ

特定非営利活動法人 ^{わか}和

電話 075-353-5181
(10時～16時)

FAX 075-353-5185

メール info@fuucco-nagomi.com

平成26年度 第3回ニュースレター目次 (全県版)

(情報対象期間 平成26年7月22日～10月27日^{※1})

タイトル		発行元
避難元地域の 新着情報	ふれあいニュースレター 第45号、第46号、第47号	政府原子力被災者 生活支援チーム
	住まいの復興給付金	復興庁
	県外で受検できる内部被ばく検査について	福島県
	放射線対策ニュース 第22号、第23号、第24号	福島市
	二本松市災害対策本部情報 第84号、第85号	二本松市
	だて復興・再生ニュース 第20号、第21号、第22号	伊達市
	広報もともや号外 No. 48、No. 49	本宮市
	放射能対策推進町民会議だより 第26号	桑折町
	復興情報 第79号、第80号	国見町
	川俣町災害対策本部からのお知らせ No. 117～122	川俣町
	「東日本大震災」関連情報 第52号	北塩原村
	相馬市住宅再建瓦版 第十一号	相馬市
	無料個別相談会開催のご案内	原子力損害賠償・ 廃炉等支援機構
福島県・県内市町村等のホームページ新着情報 ^{※2}	福島県・県内 市町村等	
避難先地域の 新着情報 ^{※3}	避難先地域	

- ※1 作業の都合上、一部の掲載する情報の公表時期が、上記の情報対象期間と異なる場合がございます。
- ※2 福島県・県内市町村等のホームページから収集した情報を、取りまとめてお送りいたします。内容は冊子の表紙にてご確認ください。
- ※3 ご自身が避難されている地域の広報紙、自治体ホームページ等から収集した情報をお送りいたします。

会場案内

「聞法会館」3F

京都市下京区堀川通花屋町上ル 西本願寺北



【アクセス】

車の場合
・西本願寺北境内駐車場（無料）をご利用ください。

市バスご利用の場合
・JR京都駅から9、28、75号系統
「西本願寺前」下車、進行方向（北）に徒歩5分

徒歩の場合
・JR京都駅より徒歩約20分

宛先 特定非営利活動法人 和（なごみ）

電話 075-353-5181（10時～16時）

FAX 075-353-5185 メール info@fucco-nagomi.com

お申し込みの際、下記の内容をお伺いいたします。FAXの場合は直接記入してお送りください。メールの場合は、下記の項目についてご記入の上送信してください。お預かりした情報は、目的外には使用いたしません。

支援情報説明会・交流会 参加申込用紙

締切：12月10日（水）17：00まで

お名前	(ふりがな)		
ご連絡先	電話		
	メール	(どちらかご記入ください)	
参加人数	大人	人	子ども 人
避難元住所	福島県 (市・町・村)		
昼食希望 (無料です)	お弁当	個 (会場地下のレストラン「矢尾定」さんのお弁当です)	
託児希望	(記入例) さとう なごみ 3歳 3ヶ月		
質問事項をできるだけ事前にお書きください。説明会にて回答できるようにご準備いたします。			
復興庁、「子ども被災者支援法」等への質問事項			
福島県、京都府等への質問事項			
その他ご質問			

21

参考4-12

(様式 1-4)

福島県・県内市町村等のその他ホームページ新着情報（全県版）

（情報対象期間 平成26年7月22日～10月27日※1）

分野	タイトル	発行元	ページ
復興状況	災害復旧工事進捗状況	福島県	1
	復興整備計画について	福島県	6
	浜通り 復旧・復興事業 進捗状況図及び一覧表	福島県	10
	復興整備協議会及び復興整備計画	川俣町	11
	JR復旧状況	新地町	12
	復興整備計画	新地町	15
イベント	県政広報テレビ番組（放送動画）	福島県	17
	「食」と「ふるさと」新生運動 イベントカレンダー	福島県	20
	ふくしまてくてく	福島県	26
	【動画】福島市政テレビ5分番組 8月放送分「松川町に新しい遊び場が完成」を配信中-	福島市	29
	【動画】市政テレビ番組「希望ある復興へ」-8月放送分「福島わらじまつりー伝統の祭りで福島を盛り上げるー」配信中-	福島市	30
	市制施行60周年記念企画展「みちのく須賀川の俳諧文化」のご案内	須賀川市	31
	古殿町「秋のフォトコンテスト」の作品を募集します。	古殿町	33
	鮫川の郷土料理を楽しむ会を開催します	鮫川村	35
	「あいづ食の陣」開催中です！	会津若松市	36
	飲料水の放射性物質モニタリング検査結果	福島県	38
放射線量	環境放射能測定結果	福島県	45
摂取や出荷の差止要請	福島県	55	
学校給食モニタリング事業検査結果	福島県	58	
除染	市内の除染及び仮置場の進捗状況をお知らせします	福島市	59
	各工区の除染進捗状況（住宅除染）	福島市	62
	除染の進ちょく状況お知らせ	川俣町	66
	住宅等の自主的除染に係る費用の賠償基準が公表されました	二本松市	67
	自主的除染に係る費用の賠償について	郡山市	71
	仮置場について	郡山市	75
	須賀川市除染実施状況	須賀川市	76
	住宅等の自主的除染に係る費用の賠償について	石川町	77
	住宅除染事業の事前測定が始まります	新地町	81
	いわき市除染実施計画＜第3版＞を改定しました。	いわき市	82
	除染に関するQ&A（平成26年9月17日版）について	いわき市	84

参考4-13

(様式 2-1)

県外自主避難者等への情報支援事業
第●回支援情報説明会・交流会

日時：2015年●月●日（●）●●：●●～●●：●●

場所：施設名（住所）

次 第

開 会（●●：●●）

出席者紹介

1. 「●●●●」について（●●：●●～）
（避難元自治体） ●●●●課 ●● 氏
2. 「●●●●」について（●●：●●～）
（避難先自治体） ●●●●課 ●● 氏
3. 「●●●●」について（●●：●●～）
（有識者名） ●● 氏
4. 質疑応答（15：30～）

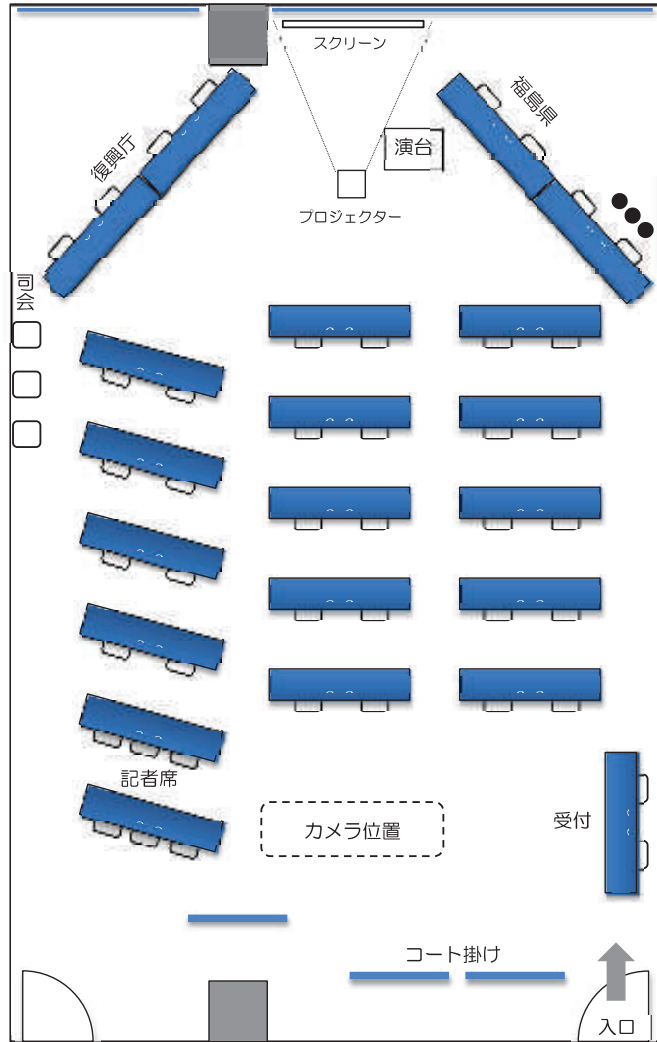
閉 会（15：45）

※閉会后、同会場にて交流会を行います。（16：00～17：00）

以上

県外自主避難者等への情報支援事業
第●回支援情報説明会・交流会

配席図



支援情報説明会・交流会に関するアンケート

本日は説明会・交流会へご参加いただき誠にありがとうございます。今後の運営や内容の改善のため以下のアンケートにご協力ください。会場にてご記入の上、お帰りの際に運営スタッフにお渡しください。

Q1: 本日の説明会・交流会の内容にはご満足いただけましたか？

①～④は、次第
の表記、順序に
統一する

- ① 避難元の情報提供について：
[□大変満足、□まあ満足、□普通、□やや不満、□大いに不満、□分からない]
- ② 避難先の情報提供について：
[□大変満足、□まあ満足、□普通、□やや不満、□大いに不満、□分からない]
- ③ 有識者等からの情報提供について：
[□大変満足、□まあ満足、□普通、□やや不満、□大いに不満、□分からない]
- ④ 交流会について：
[□大変満足、□まあ満足、□普通、□やや不満、□大いに不満、□分からない]

Q2: 今回参加されたきっかけについて、以下の中からお選び下さい。※複数回答可

- [□ニュースレター □発送されてきたチラシ □ホームページ □メール情報
□友人・知人に誘われて □その他 ()]

Q3. 説明会や交流会の内容や資料について、ご要望があれば具体的にお書きください。

Q4. 説明会や交流会の開催日や時間帯、会場、進め方などなどについて、ご要望があれば具体的にお書きください。

▼裏面に続きます

Q5: 全国避難者登録システム（総務省）にご登録はお済ですか？

- ① 全国避難者登録システムを [口知っている、口知らなかった]
 - ② 全国避難者情報システムに [口登録済み、口登録していない、口分からない]
- ※登録されていない方は是非ご登録ください。資料をご用意しています。

Q6: (受託事業者からの設問：任意)

Q7: 避難生活について不安な点やご要望があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。お帰りの際に運営スタッフにお渡し下さい。

報道関係各位

ご取材に当たってのお願い

本説明会のご取材に当たりいくつかお願いがあります。ご一読いただき、内容についてご承諾いただける場合は、別紙「誓約書」に署名の上ご取材いただきますようご協力の程よろしくお願いたします。

ご質問、ご要望等がございましたら、事務局までお申し付けください。

<お願い>

1. 取材・傍聴は、支援情報説明会のみとさせていただきます。(避難者交流会の取材・傍聴はご遠慮ください。)
2. 撮影は、冒頭挨拶部分のみとさせていただきます。これ以外の部分についての動画・写真の撮影、録音は禁止とします。
3. 取材・撮影は、会場スタッフの指示に従い、指定の場所にて来場者の妨げにならないようお願いします。
4. 来場者個人が識別できる写真の撮影及びその使用は禁止とします。また、来場者個人への取材はお控えください。
5. フラッシュ撮影はご遠慮ください。

※ 撮影された映像や取材記事については、本事業の内部資料として活用しますので、記事掲載日・放送日をお知らせください。

また、放送された映像については、可能であれば電子媒体にて支援情報説明会・交流会主催者にご提供ください。

(連絡先：〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

誓約書

貴社名 _____

氏名 _____

支援事業説明会を取材するに当たり、下記の事項を厳守することを誓約します。

記

1. 取材・傍聴は、支援情報説明会のみ行います。
2. 撮影は、冒頭挨拶部分のみ行います。これ以外の部分について、動画・写真の撮影、録音は行いません。
3. 取材・撮影は、会場スタッフの指示に従い、指定の場所にて来場者の妨げにならないよう行います。
4. 来場者個人が識別できる写真の撮影及びその使用はいたしません。また、来場者個人への取材は致しません。
5. フラッシュ撮影は行いません。

以上

支援情報説明会・交流会の進行に関する留意事項について

本説明会を開催する目的は、県外自主避難者への適切な支援情報の提供、支援ニーズの受け止め等にあります。何等かの事由のために円滑な会議運営が損なわれ、目的の達成が困難となり得る状況においては、運営主体は適切に改善のための措置を講じる必要があります。このため以下の点にご留意ください。

1 参加者へのお願いについて

- ・受託事業者は、支援情報説明会・交流会の主催者として円滑な運営に努めていただく必要があります。このため、十分な運営体制を設けるとともに、参加者へのお願い事項を記した書類（別紙参照）を予め参加者にお渡しするとともに、司会者から会の冒頭で参加者にお伝えください。
- ・お願い事項は、別紙を基本とし、会場の利用に関する注意事項などを必要に応じて追記してください。

2 参加者の発言・行為への対応について

- ・参加者からの感情的な発言等については、親身に受け止めるなど、避難者の心情に十分な配慮をお願いします。
- ・復興庁や避難元・避難先自治体に対する攻撃的な発言が見受けられた場合は、司会者が一度受け止めて、回答しやすいように質問し直して頂くなど、発言者への配慮と同時に円滑な議事進行にも努めて頂くようお願いいたします。
- ・進行を著しく妨げる発言や行為などのために支援情報説明会・交流会の目的が十分達成できないことが危惧される場合は、司会者及び運営スタッフが適切にご対処ください。
- ・司会者及び運営スタッフが円滑な会議運営を継続できないと判断した場合や、事業管理者が復興庁と協議のうえ、円滑な会議運営の継続が困難と判断した場合は、事業管理者は支援情報説明会・交流会の会議運営を中止することがあります。
- ・また、支援情報説明会・交流会の円滑な進行に関してその他の問題が生じた場合についても、受託事業者は事業管理者および発注者と協議の上、適切にご対処ください。

3 支援情報説明会・交流会の記録・報告について

- ・支援情報説明会・交流会の結果や会議運営の状況については、正確に記録し、事業管理者にご報告ください。
- ・特に、参加者数および参加者氏名については把握をお願いします（氏名についてご本人が回答を拒否した場合は、無理にお願いすることは避けてください）。
- ・公式記録用（非公開）に支援情報説明会・交流会の録音・録画をお願いします。
- ・主催者が記録用に録音・録画することについては、参加者へ事前にご案内ください。

4 全国避難者情報システムについて

- ・支援情報説明会・交流会の中で、参加者に全国避難者情報システム（総務省）への登録の有無を確認いただき、未登録者の人数を事業管理者まで報告ください。
- ・未登録者がいた場合は、当該システムへの登録を促すとともに、案内をお渡しください。（案内は別途、事業管理者より送付するものを利用ください。）

支援情報説明会・交流会参加者に対するお願い（例）

「支援事業説明会・交流会」へご参加の皆さまへ

1. 会議中は、進行の妨げになりますので、私語・発言はご遠慮ください。
2. 他の参加者のご迷惑となりますので、携帯電話は電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください。
3. ご発言は、司会の許可を得た上でお願いします。発言に先立ち、お名前と避難元の居住地を明示してから発言してください。また、より多くの方が発言できるよう、発言は手短かにお願いします。
4. 他の参加者の発言に影響を及ぼすような発言（批判等）や行為（拍手等）はご遠慮ください。また、特定の信条や政治活動に関わる発言はご遠慮ください。
5. 会議中の撮影・録音についてはご遠慮ください。なお、事務局では記録のための撮影・録音を行いますのでご了承ください。
6. ご意見がある場合は、ご発言いただくほか、アンケートにご記入いただくこともできます。
7. 上記のほか、支援情報説明会・交流会の運営については、司会者及び運営スタッフの指示に従って頂きますようお願いいたします。
8. 上記の事項に反する行為や、その他の円滑な運営を妨げる行為が見られた場合は、ご退場いただく場合がありますのでご了承ください。

県外自主避難者等への情報支援事業
事業の総括と課題

・団体名：

(1) 事業の成果

ニュースレター	支援希望者世帯数		世帯
	うち新規追加数※1		世帯
支援情報 説明会・ 交流会 ※2	参加者数 ※3	第1回	説明会 人 交流会 人 取材 社
		第2回	説明会 人 交流会 人 取材 社
		第3回	説明会 人 交流会 人 取材 社
	開催案内の告知手段		※公共施設でのチラシ配布、広報誌等への掲載など (ニュースレター同封以外) ● .. ● ..
相談窓口の 開設 ※4	相談受付延べ数	延べ	件
	相談受付人数		人
	主な相談内容	※特に多く寄せられた相談内容、避難者の状況意識等 で特に気づいたこと ● .. ● ..	
開催案内の告知手段		※公共施設でのチラシ配布、広報誌等への掲載など (ニュースレター同封以外) ● .. ● ..	
事業実施による 成果	【自由記述】※本事業の効果として気づいたことがあれば記載してください。 (例)交流会の開催で、横のつながりができて避難者が元気になった ● ..		

- ※1 団体に直接、支援希望（ニュースレター送付）依頼があった数。
- ※2 第1回、第2回、第3回の参加者数。但し、●月中に支援情報説明会・交流会を開催した団体のみ。支援情報説明会・交流会という形式で開催していない場合、第2回、表記の様式は任意で構いません。なお、第3回の成果について、支援情報説明会・交流会終了後、追加したものを事業管理者まで送付ください。
- ※3 参加者数は、福島県からの自主避難者のみを記載ください。
- ※4 ●月●日(●)までの累計。

(2) 事業の課題

ニュースレターの 制作・発送	※ニュースレター発行や支援情報説明会・交流会開催について、事業遂行上の課題等を挙げ、考えうる解決方を記載してください。課題の指摘のみでも構いません。 (表記例) ● ～が課題 解決方策：～ ● ～が課題 解決方策：～
支援情報 説明会・ 交流会の 開催	※支援情報説明会・交流会や交流会の開催準備、開催方法等について、事業遂行上の課題等を挙げ、考えうる解決方を記載してください。課題の指摘のみでも構いません。 (表記例) ● ～が課題 解決方策：～ ● ～が課題 解決方策：～
相談窓口 開設・運営	※電話や面談による相談対応、専門機関等への連絡調整業務について、事業遂行上の課題等を挙げ、考えうる解決方を記載してください。課題の指摘のみでも構いません。 (表記例) ● ～が課題 解決方策：～ ● ～が課題 解決方策：～
その他	(表記例) ● ～が課題 解決方策：～ ● ～が課題 解決方策：～

(3) 今後の自主避難者に対する支援方策について

※本事業による取り組み以外で、より効果的な支援策や工夫について意見があれば記載してください。

-
-
-

※事業の総括と課題は、最大4枚までに取りまとめて下さい。